

令和3年度事業報告書



社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会

目 次

| | |
|-------------------------|----|
| 総括 | 3 |
| 社会福祉協議会運営基盤の強化 | 4 |
| 在宅福祉推進事業 | 8 |
| 高齢者福祉事業 | 11 |
| 障害者福祉事業 | 20 |
| 児童福祉事業 | 27 |
| 地域福祉推進事業 | 29 |
| ボランティア振興事業 | 33 |
| 厚生福祉事業 | 36 |
| 福祉関係組織活動支援 | 38 |
| 災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告 | 40 |

令和3年度事業報告

I 総 括

長引く新型コロナウイルス感染拡大の災禍は、私たち一人ひとりの生活や生き方に大きな変化をもたらし、今なお収束の兆しが見えない状況にあります。さらに、2月末から始まったロシアのウクライナ侵攻と思われる大規模な軍事行動では、多くの尊い命や日常の暮らしが奪われる様子が連日報道され、現実とは思いたくない状況が続いています。我が国でも穀物やエネルギー等の輸入に影響が出始め、物価の高騰など私たちの日々の生活に更なる不安が増しています。

本町においても、就労や雇用の不安により生活福祉資金等の貸付が増え、現在もなお新規で申請される方が続いております。申請受付時の相談では、今回、はじめて福祉とつながりができた世帯や、今後もしばらく支援が必要と感じる世帯もあり、潜在化された福祉課題が多くあると思われます。地域のつながりが薄れ、ひきこもりやごみ屋敷、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラー等の課題も多く、このような課題は、制度にうまく対応することが難しく簡単に解決には至らない状況にもあります。

そのような中、京丹波町社会福祉協議会では、令和3年度12月に京都府の「地域公共プロジェクト交付金（府民に寄り添った地域活動緊急支援事業）」を活用し、年末年始における食料品等の提供を行いました。提供させていただいた世帯からは喜びと感謝の声をいただくとともに、今後も引き続き定期的な支援が必要と感じたため、町内事業所や住民の皆様にもご協力いただきながら支援できる「フードバンク」の取組みを始めることができました。次年度以降、更に協力いただける方々を増やしながら本格的に進めていきたいと考えています。

一方、社会福祉法人が唯一収益を目指すことができる、介護保険事業や障害者総合支援事業については、徐々に利用者が減少傾向にあり、本会の運営が大変きびしくなっております。通所介護事業所（デイサービス事業）では、一日の利用定員数は減少となるものの、より報酬単価の高い「地域密着型通所介護事業」に移行し、運営の改善を試みっていますが移行に半年程度の期間がかかったことなどから大きな減収となりました。今一度、本会全体の事業を見直し、収入の増加、支出の削減について改善していくべき準備を進めています。

最後に、コロナ禍のなかで感染防止対策を講じながら進めた事業について以下のとおりご報告いたします。

II 社会福祉協議会運営基盤の強化

1 活動財源の確保

(1) 会員増強運動

社会福祉協議会(以下、社協)は、地域で暮らす住民の皆さんが主体となって運営される民間の団体であり、住民の皆さんに会員となっただき住民主体の福祉活動を進めていきます。

会費を納めていただくことで、地域福祉の推進に取り組む社協の貴重な財源となり事業の運営やサービスの参加・協力を財政面で支えていただくことになります。

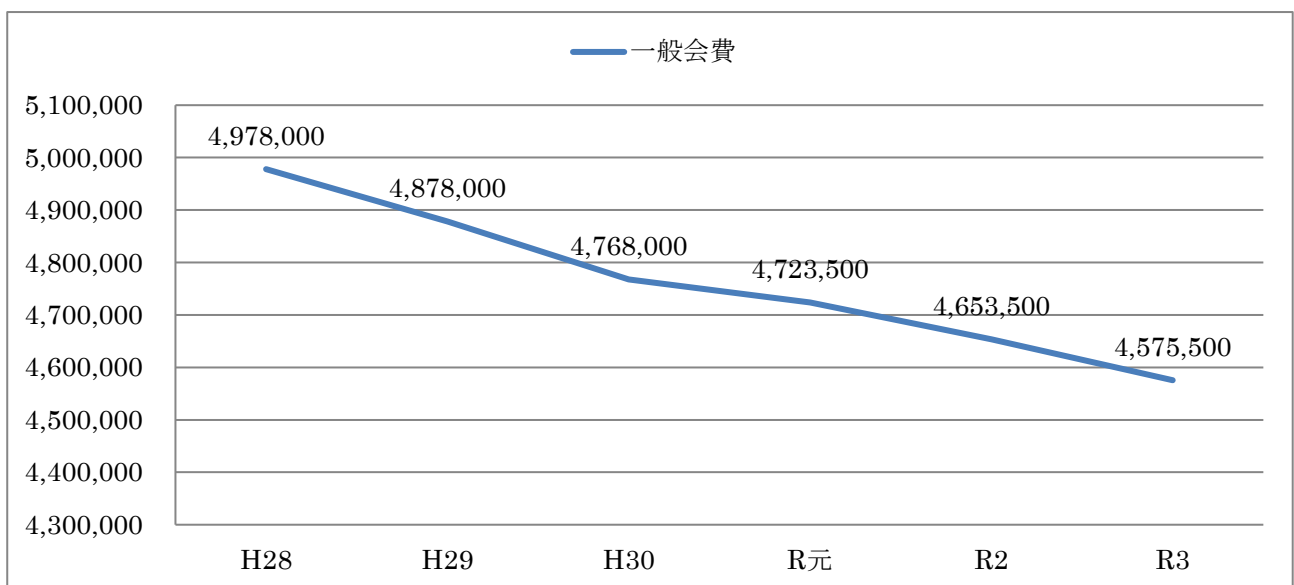
①会費納入状況

| 会員種別 | 丹波 | 瑞穂 | 和知 | 町外 | 合計 | 備考 |
|------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------------|
| 一般会員 | 1,770,000 | 1,519,000 | 1,281,500 | 5,000 | 4,575,500 | 成人者：1,000円 |
| 特別会員 | 80,000 | 185,000 | 75,000 | 100,000 | 440,000 | 会社・事業所等：5,000円 |
| 賛助会員 | 45,000 | 0 | 9,000 | 0 | 54,000 | 福祉施設・団体等：3,000円 |
| 合計 | 1,895,000 | 1,704,000 | 1,365,500 | 105,000 | 5,069,500 | |

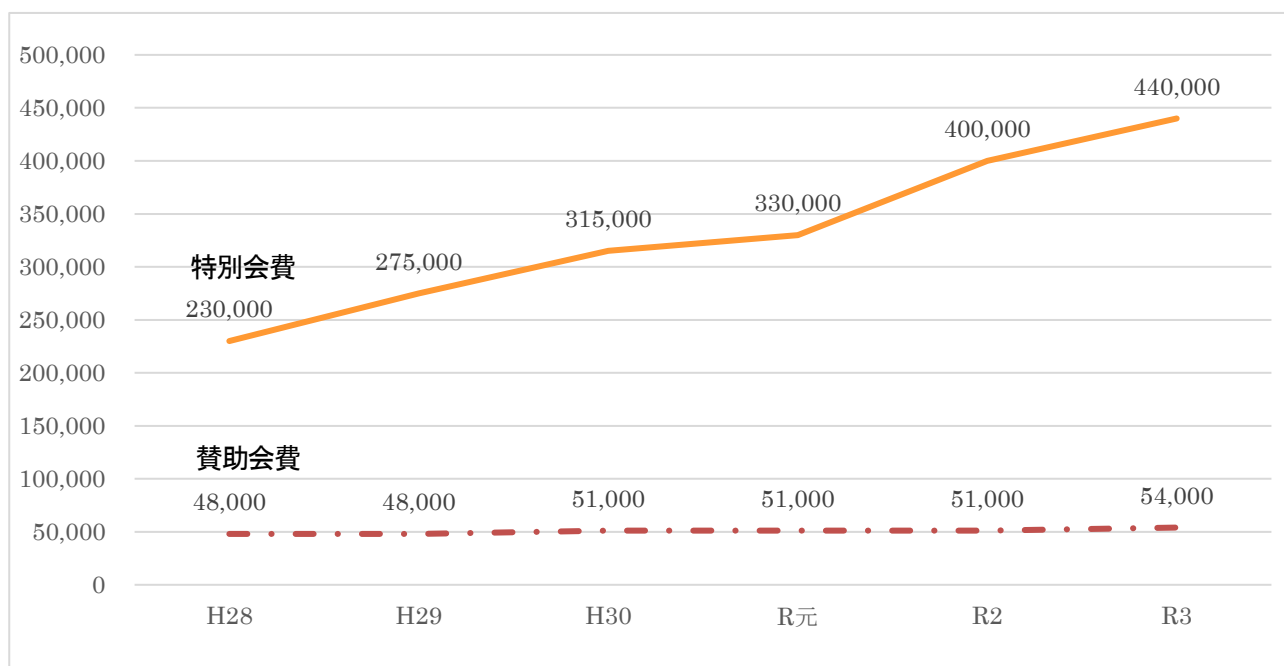
一般会費地区ごとの内訳

| | | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 |
|----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 丹波 | 会費 | 1,940,000 | 1,898,000 | 1,829,000 | 1,827,000 | 1,803,000 | 1,770,000 |
| | 成人数 | 6,269 | 6,165 | 6,057 | 5,959 | 5,855 | 5,808 |
| | 加入率 | 30.9% | 30.8% | 30.2% | 30.7% | 30.8% | 30.5% |
| 瑞穂 | 会費 | 1,632,000 | 1,611,000 | 1,581,000 | 1,554,000 | 1,540,000 | 1,519,000 |
| | 成人数 | 3,793 | 3,702 | 3,625 | 3,576 | 3,532 | 3,453 |
| | 加入率 | 43.0% | 43.5% | 43.6% | 43.5% | 43.6% | 44.0% |
| 和知 | 会費 | 1,406,000 | 1,369,000 | 1,355,000 | 1,337,500 | 1,305,500 | 1,281,500 |
| | 成人数 | 2,705 | 2,660 | 2,602 | 2,545 | 2,471 | 2,386 |
| | 加入率 | 52.0% | 51.5% | 52.1% | 52.5% | 52.8% | 53.7% |
| 全域 | 会費 | 4,978,000 | 4,878,000 | 4,768,000 | 4,723,500 | 4,653,500 | 4,575,500 |
| | 成人数 | 12,767 | 12,527 | 12,284 | 12,080 | 11,858 | 11,652 |
| | 加入率 | 39.0% | 38.9% | 38.8% | 39.1% | 39.2% | 39.3% |

※一般会費の推移(単位：円)



※特別・賛助会費の推移（単位：円）



(2) ご寄付を広くお受けできるように

①自動販売機による寄付の取組

飲み物を購入するとその売り上げの一部が自動的に京丹波町社協へ寄付される自動販売機を、町内2カ所に設置協力をいただいている。

寄付実績

| ウディパルわち | 道の駅丹波マーケス | 計 |
|---------|-----------|---------|
| 14,400円 | 43,782円 | 58,182円 |

②税額控除制度の活用

税額控除制度は、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引くことができるため、個人による小口寄附を促進する効果がある。

京丹波町社協は、令和2年から税額控除対象法人としての証明書を受けたため、「所得控除」か「税額控除」のどちらか有利な方を選択し控除を受けていただくことができる。

2 法人運営

●会 務

(1) 理事・監事会・・・6回【書面決議含む】

| | |
|---------|---|
| R3.6.3 | 会長職務執行状況報告、評議員候補者の確認 |
| R3.6.17 | 正副会長の選任 |
| R3.7.8 | 会長職務執行状況報告、職員ワクチン接種状況、各種委員会委員の選出 |
| R3.12.6 | 会長職務執行状況報告、園部ロータリークラブより寄付受領、軽車両入札報告、3年度補正予算（案）、3年度上半期事業執行状況・予算執行状況の確認、第2回評議員会開催 |
| R4.3.3 | 会長職務執行状況報告、フードバンク、要約筆記サークル厚生労働大臣表彰受賞、3年度第2次補正予算（案）、4年度事業計画（案）・予算（案）、第3回評議員会開催、就業規則の変更、規程の新設 |
| R4.3.8 | 【書面決議】3年度第2次補正予算（案）、就業規則変更 |

(2) 監査会・・・2回

| | |
|------------|----------------------------|
| R3. 5. 26 | 2年度事業及び収支決算について監査 |
| R3. 11. 18 | 3年度上半期事業執行状況及び予算執行状況について監査 |

(3) 評議員会・・・3回

| | |
|------------|---|
| R3. 6. 17 | 地域密着型通所介護事業所への移行について、任期満了に伴う理事・監事の承認、2年度事業報告・収支決算 |
| R3. 12. 16 | 3年度上半期事業執行状況・予算執行状況確認 |
| R4. 3. 17 | 3年度第2次補正予算、4年度事業計画・予算、要約筆記サークル厚生労働大臣表彰受賞報告 |

(4) 三役・管理職会議・・・12回

| | |
|------------|--|
| R3. 4. 8 | 京都府共同募金会役員選出、職員慰労金、監事会・理事会・評議員会日程案、職員募集、各課からの報告、他 |
| R3. 5. 12 | 新型コロナウイルス感染防止対策、第1回理事会、人事評価制度、今後の予定、職員募集、各課からの報告、他 |
| R3. 7. 8 | 夏季休暇、人事評価制度評価委員会、他 |
| R3. 8. 11 | 予算要望、最低賃金、各課からの報告、他 |
| R3. 9. 10 | 予算要望、最低賃金、各課からの報告、他 |
| R3. 10. 14 | 予算要望、共同作業所のあり方、各課からの報告、他 |
| R3. 11. 29 | 予算要望報告、共同作業所のあり方、監事会報告、理事会、今後の予定、各課からの報告、他 |
| R3. 12. 24 | 要約筆記サークル厚生労働大臣表彰受賞、フードバンク、健康管理センター管理委託、運転業務前後の飲酒検査、新型コロナウイルス感染防止対策、各課からの報告、他 |
| R4. 1. 27 | 新型コロナウイルス感染防止対策、フードバンク、健康管理センター管理委託、共同作業所のあり方、各課からの報告、他 |
| R4. 2. 22 | フードバンク、健康管理センター管理委託、共同作業所のあり方、各部署事業計画、理事会、評議員会、各課からの報告、他 |
| R4. 3. 3 | 来年度体制、職員募集、他 |
| R4. 3. 17 | 職員処遇、他 |

(5) 各種運営委員会

| 委員会名 | 丹波 | 瑞穂 | 和知 | 合計 |
|----------------|----|----|----|----|
| 心配ごと相談所運営委員会 | | 0 | | 0 |
| 福祉資金貸付委員会 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| ボランティアバンク運営委員会 | | 2 | | 2 |
| 理事・監事推薦委員会 | | 0 | | 0 |
| 評議員選任・解任委員会 | | 1 | | 1 |

(6) 管理職（課長）会議・・・16回

| | |
|-----------|---|
| R3. 4. 23 | 緊急事態宣言発令に伴う対応、退職職員、他 |
| R3. 5. 11 | 新型コロナウイルス感染防止対策、事業報告、人事考課制度、規程変更、今後の予定、職員募集、各課からの報告、他 |
| R3. 5. 28 | 緊急事態宣言発令に伴う対応、他 |
| R3. 6. 3 | 人事考課制度、職員募集、各課からの報告、他 |
| R3. 6. 7 | 人事考課制度、倉庫の整理、各課からの報告、他 |
| R3. 6. 30 | 人事考課制度、コロナワクチン接種、他 |

| | |
|------------|---|
| R3. 7. 7 | 理事会、コロナワクチン接種、職員採用、業務管理・目標管理シート、各課からの報告、他 |
| R3. 8. 4 | 行政への予算要望、職員採用、各課からの報告、他 |
| R3. 8. 18 | 緊急事態宣言発令に伴う対応、他 |
| R3. 9. 1 | 予算、最低賃金、職員体制、各課からの報告、他 |
| R3. 10. 7 | 予算、最低賃金、人事考課制度、各課からの報告、他 |
| R3. 11. 9 | 行政への予算要望報告、作業所あり方、職員体制、人事考課制度、今後の予定、各課からの報告、他 |
| R3. 12. 10 | 年末年始、倉庫の整理、人事考課制度、 |
| R4. 1. 13 | 人事考課制度、倉庫の整理、コロナワクチン接種、各課からの報告、他 |
| R4. 2. 10 | コロナ禍での体制、各課からの報告、他 |
| R4. 3. 24 | 職員体制、運転前後点呼表、年度末・年度初め、他 |

(7) 職員内部研修、会議・・・1回

| | |
|-----------|-------------------|
| R3. 4. 26 | 第1回係長会議 人事評価制度 |
|-----------|-------------------|

【在宅福祉推進事業】

1 福祉サービス利用援助事業

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う。

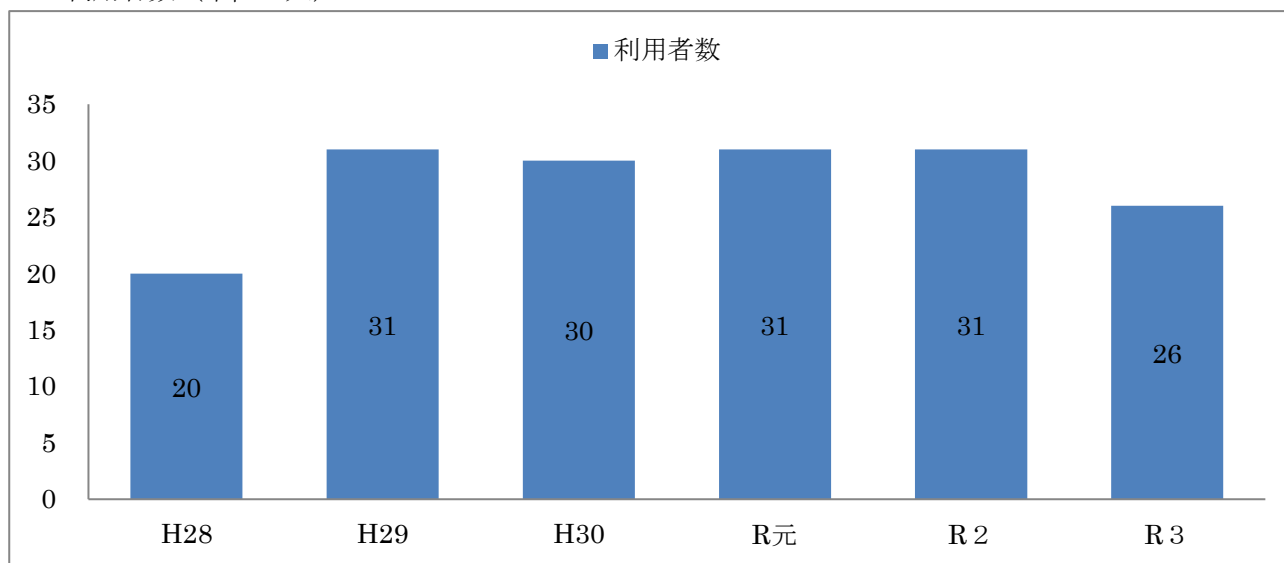
■契約・支援等の件数・・・令和4年3月31日現在

| | R2年度支援件数 | | | | | 解約件数 | 新規件数 | 保留件数 | R3年度支援件数 | | | | | 生活保護受給者数 | 相談継続件数 |
|------|----------|------|------|-----|----|------|------|------|----------|------|------|-----|----|----------|--------|
| | 認知症 | 知的障害 | 精神障害 | その他 | 計 | | | | 認知症 | 知的障害 | 精神障害 | その他 | 計 | | |
| 丹波地域 | 6 | 1 | 4 | 1 | 12 | 3 | 2 | 1 | 5 | 1 | 4 | 1 | 11 | 6 | 3 |
| 瑞穂地域 | 6 | 1 | 3 | 2 | 12 | 4 | 1 | 0 | 4 | 1 | 1 | 3 | 9 | 2 | 1 |
| 和知地域 | 4 | 0 | 2 | 1 | 7 | 2 | 1 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 6 | 0 | 1 |
| 合計 | 16 | 2 | 9 | 4 | 31 | 9 | 4 | 1 | 12 | 3 | 6 | 5 | 26 | 8 | 5 |

①令和3年度 新規契約者数 → 4名

②令和3年度 解約者数 → 9名

■利用者数（単位：人）



■支援内容

| 支援内容 | 丹波 | 瑞穂 | 和知 | 合計 | 備考 |
|--------------|----|----|----|----|-----------------|
| ○福祉サービス利用援助 | 11 | 9 | 6 | 26 | 福祉サービス利用契約手続き支援 |
| ○日常的な金銭管理 | 11 | 9 | 6 | 26 | 衣食住等の日常経費の管理 |
| ○通帳・印鑑の預かり | 11 | 9 | 4 | 24 | 通帳・印鑑の管理 |
| ○書類等の預かりサービス | 2 | 4 | 1 | 7 | 年金証書、権利証書等の預かり |

■専門員・支援員研修の開催

専門員・・・ 9回

| 研 修 名 | 開催日 | 内 容 |
|----------------------------------|--------------------|---|
| 令和3年度専門員新任研修① | R3. 4. 22 | 福祉サービス利用援助事業の専門員（担当職員）の基礎的な新任研修 |
| 令和3年度専門員新任研修② | R3. 7. 21 | 福祉サービス利用援助事業の専門員（担当職員）の基礎的な新任研修 |
| ブロック別会議① | R3. 7. 28 | 府社協から福祉サービス利用援助事業の現状と今後の動きについて報告を受け、それについての質疑応答 |
| 南丹ブロック現任生活支援員研修交流会 検討会議① | R3. 12. 7 | 南丹ブロック現任生活支援員交流研修会 についての検討 |
| 南丹ブロック現任生活支援員研修交流会 検討会議② | R4. 1. 19 | 南丹ブロック専門員・担当職員視察研修 についての検討 |
| 令和3年度専門員実務研修 | R4. 1. 28 | 令和4年度の取組み方針の確認、日常的 金銭管理の支援における本人確認につい ての実務研修 |
| 南丹ブロック専門員・担当職員視察研修 | (R4. 2. 25・ 中止) | 新型コロナウイルスの影響により蔓延防 止等重点措置が延長され、視察先から視 察の受け入れができないと申し出があり 中止した |
| ブロック別会議②・事例等検討会 | R4. 3. 8 | 実務上の課題（利用者死亡・判断能力喪 失時の対応など）や金融機関との連携に ついて府社協から報告があり、それにつ いての質疑応答。事例検討会では3ケー スの事例検討を行った。 |
| 令和3年度地権事業に係る関係機関・団 体等との情報・連絡会 | R4. 3. 11 | 社協と金融機関等の取組みや対応事例を 聞き、お互いに情報交換を行った。事例 提供については京丹波町社協からも金融 機関と連携したケースについて事例発表 を行った。 |

生活支援員・・・ 1回

| 研 修 名 | 開催日 | 内 容 |
|----------------|-----------|--|
| 令和3年度生活支援員現任研修 | R4. 2. 22 | オンラインで障害者施設の利用者に対す る自己決定支援の取組みを聞いた後、グ ループワークを実施した。 |

【成果・課題】

- ・今年度は、利用者の死亡による解約が多かった（5人）。5ケースの内、入院中の方は3ケース、2ケースは自宅等での急死だった。また、この内、2ケースは、預かり品の受取人（親族等）が設定されておらず、通帳等の預かり品が返還できない状況となった。（預かり品が返還できない場合は、10年間京丹波町社協で保管するか2年後に京都府社協に引き渡すことになる。）
- ・受取人が設定できない理由は、それぞれの家庭事情（親族と疎遠）であったり個人的な事情（金銭トラブル）があったりして、親族との関係が悪く連絡が取れない状況になっておられることによる。

2 住民寄り添い型助け合い活動かがやき

世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められているなか、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持ちで助け合う活動の推進を行う。

- 利用対象者 町内在住で何らかの困りごとを抱えている方
- 利用料金 300円／1時間（150円／30分）
※利用対象者（依頼された方）からいただく費用
※総合事業（訪問型サービスA：注1）としての利用料金は利用者の状況によって異なる
- 登録活動者 町内在住・在勤で社協が実施する講座を受講された方
登録者数81名（男性20名、女性61名）令和4年3月31日現在
- 活動費 500円／1時間（350円／30分）
※活動いただいた登録活動者に支払う費用。利用料金に赤い羽根共同募金の配分金（200円）をプラスする。
※総合事業（訪問型サービスA）としての活動費は上記と異なる

(1) 実績

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| かがやき (件数) | 9 | 8 | 10 | 7 | 5 | 3 | 6 | 9 | 27 | 4 | 3 | 4 | 95 |
| 総合事業 訪問サービスA (件数) | 21 | 23 | 25 | 22 | 28 | 31 | 29 | 28 | 33 | 23 | 23 | 26 | 312 |
| 新規利用者数 (人数) | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 | 14 |

(2) 依頼内容

| 依頼内容 | 件数 | 依頼内容 | 件数 |
|-----------|----|---------------|-----|
| 掃除 | 18 | 衣替え・衣類整理 | 8 |
| 洗濯（畳む、干す） | 4 | 荷物整理 | 2 |
| 庭木剪定 | 2 | 風呂掃除 | 2 |
| ガラス戸・窓拭き | 17 | エアコン掃除 | 1 |
| 家具移動 | 1 | ごみ分別・ゴミ捨て | 29 |
| 見守り | 9 | 模様替え | 1 |
| 家具移動 | 1 | 総合事業（訪問サービスA） | 312 |

【成果・課題】

- ・定期的に活動に入ることにより、利用者と活動者に信頼関係が出来ている。
- ・気にかけておられた方の家に活動に入ることによって、地域の中でのつながりが強くなり、普段の生活の中での見守りにもつながっている。
- ・サービスでは対応できない活動をかがやきで行うことによって、季節ごとの準備や片付けなどもスムーズに行い、柔軟に対応できる活動になっている。
- ・総合事業（訪問型サービスA）の利用者が今後も増えることが考えられるので、定期的な活動も可能な活動者の協力が必要。

(注1) 訪問型サービスA事業とは

緩和した基準によるサービス提供で、掃除、調理、買物などの生活援助を、研修を受けた住民が有償ボランティア活動として行う。

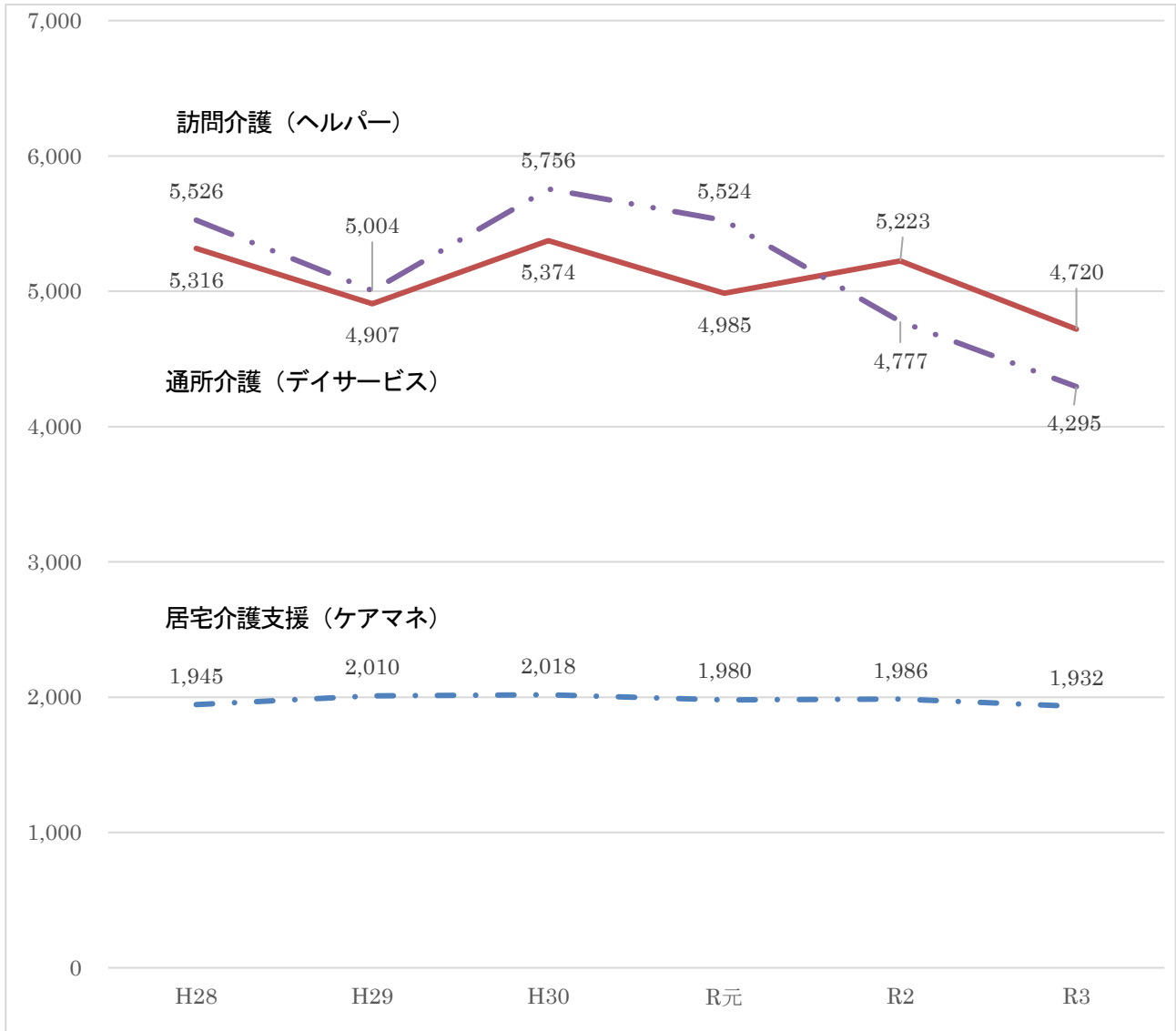
身体的な介助は行わないため、専門職のサービス提供を必要としない。

【高齢者福祉事業】

1 介護保険事業

※利用状況推移（要支援1、2、総合事業、要介護1～5の合計）

- ・ケアマネ（延べ利用者数、単位：人）
- ・ヘルパー（延べ提供回数、単位：回）
- ・訪問入浴（延べ提供回数、単位：回）
- ・デイサービス（延べ提供回数、単位：回）



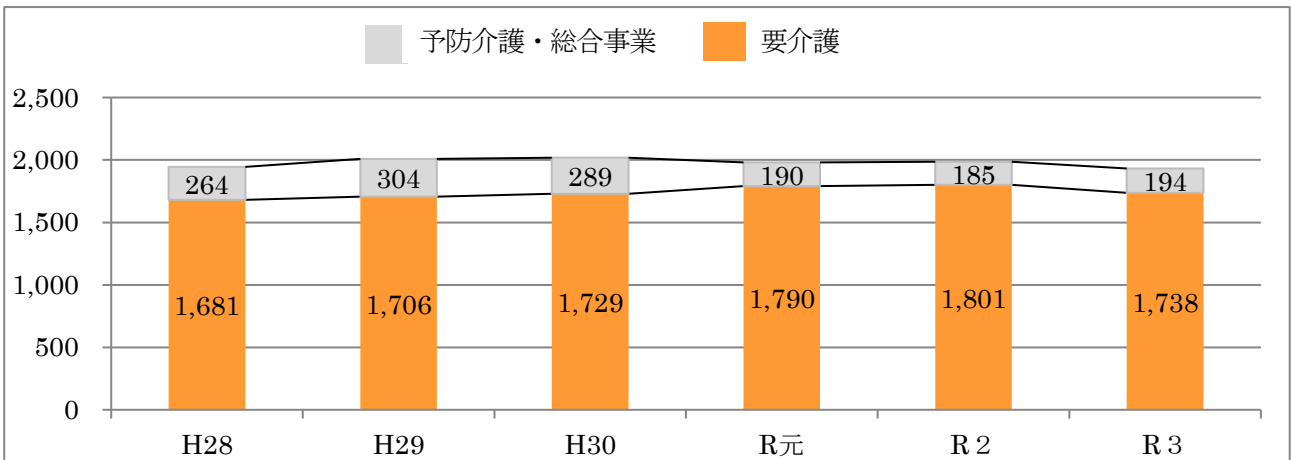
(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

| 職 種 名 | ケアプランセンターほほえみ | 備 考 |
|-----------|---------------|----------------------------|
| 管 理 責 任 者 | 1 名 | |
| ケアマネジャー | 6 名 | 1 名管理責任者兼務 2 名主任介護支援専門員 |

○高齢者生活支援事業・総合事業・・・京丹波町委託事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者で、日常生活上の援助が必要な要支援者
- 内 容：ケアマネジメント

※利用状況の推移（延べ利用者数、単位：人）



■予防介護支援事業・総合事業の実績（総合事業・要支援1・2の利用状況実績）

| 延べ利用者数（人） | 要支援1 | 要支援2 | 総合事業 | 合 計 |
|-----------------|------------|-------------|--------------|--------------|
| 3年度 | 1 | 146 | 47 | 194 |
| 2年度 | 24 | 149 | 12 | 185 |
| 元年度 | 13 | 133 | 44 | 190 |
| 前年度比較（%） | 4.1 | 97.9 | 391.6 | 104.8 |
| 元年度比較（%） | 7.6 | 109.7 | 106.8 | 102.1 |

■居宅介護支援事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

| 延べ利用者数 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 合 計 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 3年度 | 428 | 726 | 322 | 204 | 58 | 1,738 |
| 2年度 | 486 | 743 | 371 | 140 | 61 | 1,801 |
| 元年度 | 500 | 755 | 322 | 153 | 60 | 1,790 |
| 前年度比 | 88.0 | 97.7 | 86.7 | 145.7 | 95.0 | 96.5 |
| 元年度比較 | 85.6 | 96.1 | 100.0 | 133.3 | 96.6 | 97.0 |

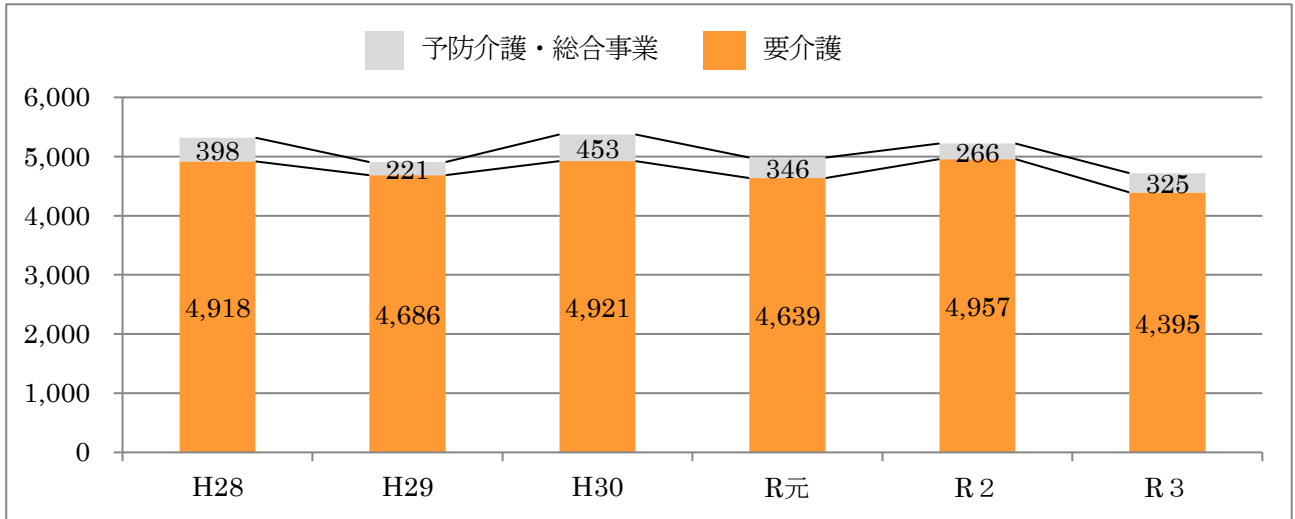
【成果・課題】

- ・未だ終息の見えないコロナ禍でのケアマネジメントでは、サービス事業所が突然に休止という状況もあったが、代替え支援や適切なフォローにより利用者のADLを低下させることなく支援ができた。
- ・「介護保険＝（イコール）制度利用」にならないよう、地域の助け合いや社会資源の提案も重要である。しかし、コロナ禍においては、新たな社会資源の開発や推進が難しい。

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

| 職 種 名 | ヘルパーセンターほほえみ | 備 考 |
|-----------|--------------|--------------|
| 管理責任者 | 1名 | サービス提供責任者が兼務 |
| サービス提供責任者 | 2名 | 常勤ヘルパーが兼務 |
| 常勤ホームヘルパー | 2名 | |
| 登録ホームヘルパー | 13名 | |

※利用状況の推移 (述べ提供回数、単位：回)



■ 予防訪問介護事業の実績 (総合事業・要支援1・2の利用状況実績)

| 延べ利用者数 (人) | 要 支 援 1 | 要 支 援 2 | 総合事業 | 合 計 |
|------------------|----------|--------------|--------------|--------------|
| 3年度 | 0 | 35 | 27 | 62 |
| 2年度 | 0 | 21 | 35 | 56 |
| 元年度 | 0 | 31 | 55 | 86 |
| 前年度比較 (%) | - | 166.7 | 77.1 | 110.7 |
| 元年度比較 (%) | - | 112.9 | 49.1 | 72.1 |
| 延べ提供回数 (回) | 要 支 援 1 | 要 支 援 2 | 総合事業 | 合 計 |
| 3年度 | 0 | 154 | 171 | 325 |
| 2年度 | 0 | 134 | 132 | 266 |
| 元年度 | 0 | 157 | 189 | 346 |
| 前年度比較 (%) | - | 114.9 | 129.5 | 122.2 |
| 元年度比較 (%) | - | 98.1 | 90.5 | 93.9 |

■ 訪問介護事業の実績 (介護1～5の利用状況実績)

| 延べ利用者数 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 合 計 |
|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 3年度 | 216 | 178 | 103 | 44 | 12 | 553 |
| 2年度 | 164 | 204 | 107 | 38 | 15 | 528 |
| 元年度 | 127 | 159 | 105 | 43 | 24 | 458 |
| 前年度比 | 131.7 | 87.3 | 96.3 | 115.8 | 80.0 | 104.7 |
| 元年度比較 | 170.1 | 111.9 | 98.1 | 102.3 | 50.0 | 120.7 |
| 延べ提供回数 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 合 計 |
| 3年度 | 1,318 | 1,475 | 838 | 610 | 154 | 4,395 |
| 2年度 | 1,045 | 1,590 | 1,624 | 536 | 162 | 4,957 |

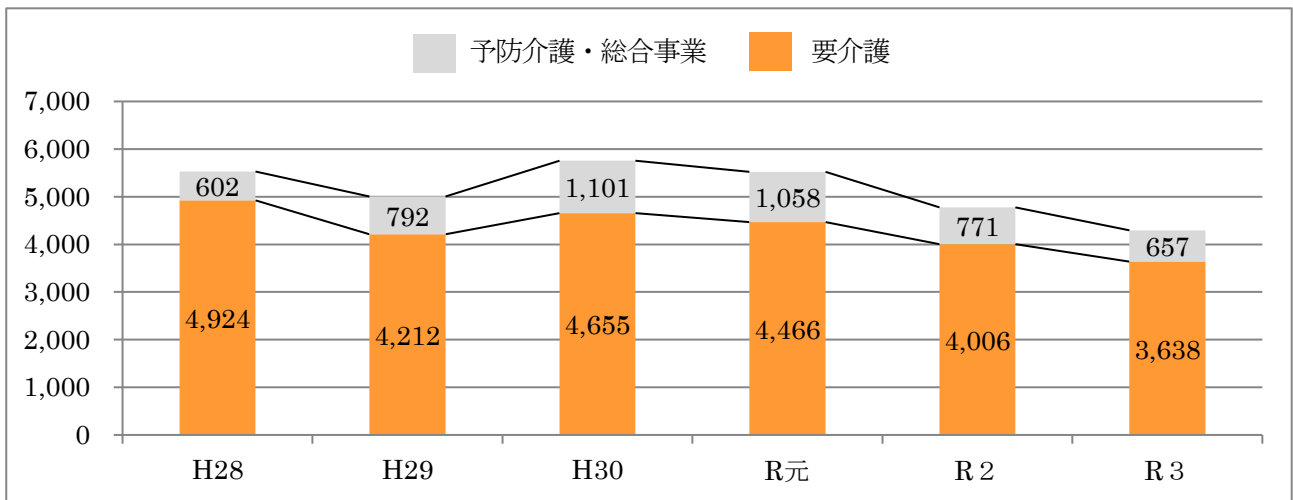
| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 元年度 | 739 | 1,514 | 1,453 | 690 | 243 | 4,639 |
| 前年度比 | 126.1 | 92.8 | 51.6 | 113.8 | 95.1 | 88.7 |
| 元年度比較 | 178.3 | 97.4 | 57.7 | 88.4 | 63.4 | 94.7 |

【成果・課題】

- ・訪問介護事業では、支援を必要とされる方は増加したが、訪問回数の多かった利用者が入所されたことで提供回数は減少した。
- ・新型コロナウイルス感染の影響で一時サービスの提供を休止された事業所があり、代替えとしてヘルパーが感染防止対策を講じて、利用者宅で入浴・身体介助の支援を行った。

(3) 通所介護事業・・・デイサービスセンターで入浴・余暇活動等を提供

※利用状況の推移（述べ提供回数、単位：回）



■ 予防通所介護事業の実績（総合事業の利用状況実績）

| 延べ利用者数 | | 述べ提供回数 | |
|----------------|------------|----------------|------------|
| 3年度利用状況 | 104 | 3年度提供回数 | 657 |
| 2年度利用状況 | 128 | 2年度提供回数 | 771 |
| 元年度利用状況 | 159 | 元年度提供回数 | 1,058 |
| 前年度比較 (%) | 81.3 | 前年度比較 (%) | 85.2 |
| 元年度比較 (%) | 65.4 | 元年度比較 (%) | 62.1 |

■ 通所介護事業の実績（介護1～5の利用状況実績）

| 延べ利用者数 (人) | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 合計 |
|------------|------------|--------------|------------|------------|------------|--------------|
| 3年度 | 116 | 147 | 92 | 52 | 43 | 450 |
| 2年度 | 82 | 176 | 117 | 38 | 55 | 468 |
| 元年度 | 96 | 227 | 103 | 62 | 52 | 540 |
| 前年度比較 (%) | 141.5 | 83.5 | 78.6 | 136.8 | 78.2 | 96.2 |
| 元年度比較 (%) | 120.8 | 64.8 | 89.3 | 83.9 | 82.7 | 83.3 |
| 延べ提供回数 (回) | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 合計 |
| 3年度 | 776 | 1,012 | 786 | 446 | 618 | 3,638 |
| 2年度 | 574 | 1,279 | 1,073 | 266 | 814 | 4,006 |
| 元年度 | 785 | 1,671 | 888 | 545 | 577 | 4,466 |
| 前年度比較 (%) | 135.2 | 79.1 | 73.3 | 167.7 | 75.9 | 90.8 |
| 元年度比較 (%) | 98.9 | 60.6 | 88.5 | 81.8 | 107.1 | 81.5 |

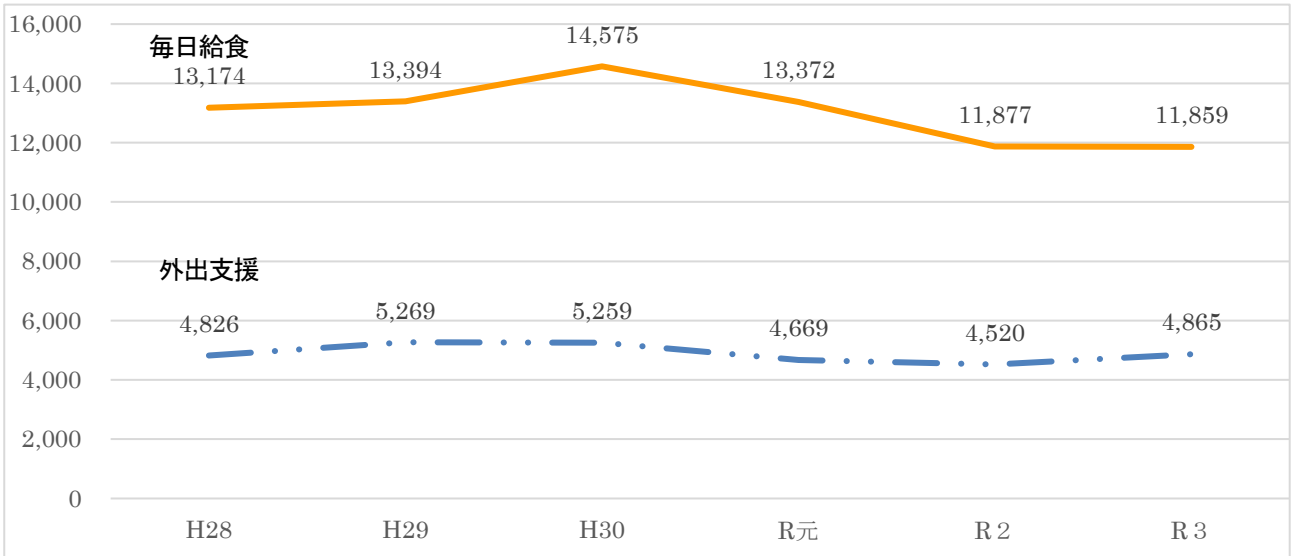
【成果・課題】

- ・本年度は地域密着型通所介護事業(=定員減少)への移行を計画していたことで、年度当初から一日の利用者数に制限をかけてきた事もあり、延べ利用者は減少となっている。他事業所や行政などとも連携し、令和3年10月に移行することができた。
- ・新型コロナウイルス対策も継続し、感染者を出すことなくサービスの提供ができた。
- ・一日の利用登録者数は(18名)満員に近いが、ショートステイや入院、体調不良等でキャンセルされる事が多くあり、稼働率の向上が課題である。

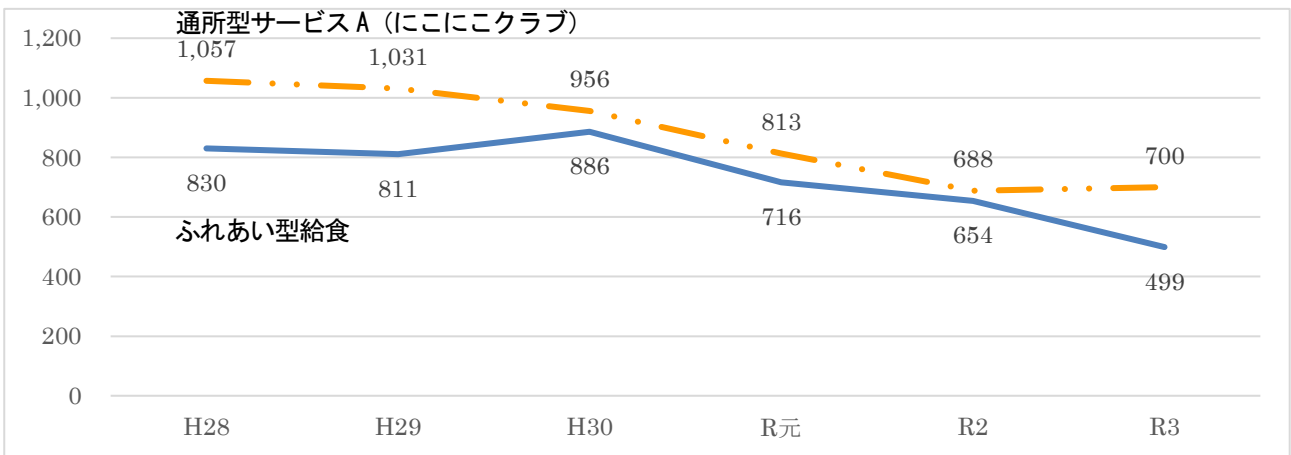
2 高齢者生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

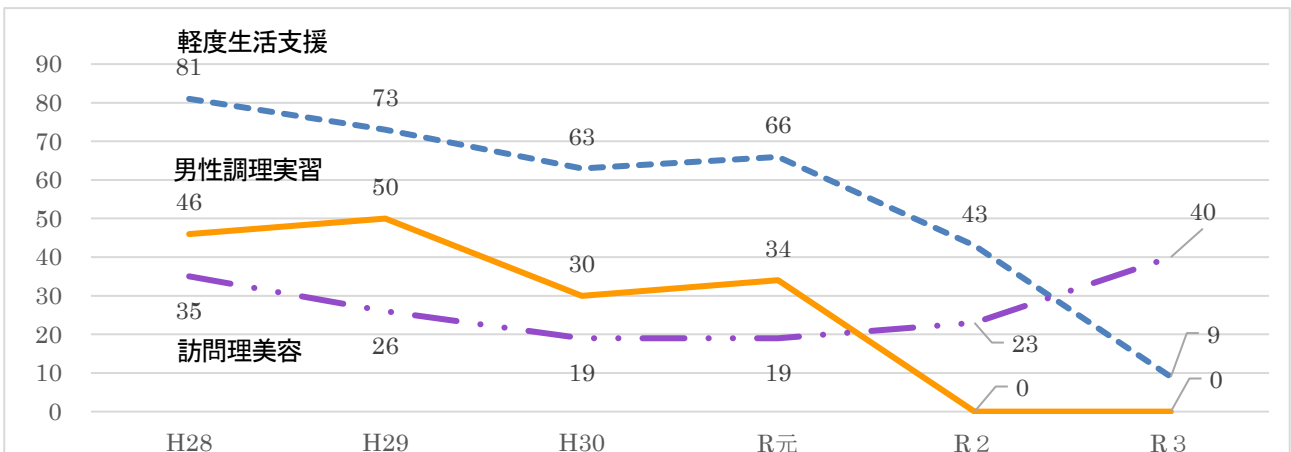
- ・毎日給食（延べ配食数合計、単位：食）
- ・外出支援（延べ提供回数合計、単位：回）



- ・にこにこクラブ（延べ提供回数合計、単位：回）
- ・ふれあい型給食（延べ配食数合計、単位：食）



- ・男性調理実習（延べ参加人数合計、単位：人）
- ・訪問理美容（延べ提供回数合計、単位：回）
- ・軽度生活支援（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 軽度生活支援事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者で、一人ぐらし高齢者・高齢者世帯等、日常生活上の援助が必要な方

■内容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助

■提供者：ホームヘルパー

| 延べ利用者数 (人) | 丹波 | 瑞穂 | 和知 | 合計 |
|------------|----------|----------|----------|----------|
| 3年度 | 0 | 8 | 0 | 8 |
| 2年度 | 8 | 8 | 0 | 16 |
| 元年度 | 12 | 14 | 0 | 26 |
| 前年度比較 (%) | ■ | 100.0 | ■ | 50.0 |
| 元年度比較 (%) | - | 57.1 | - | 30.8 |
| 延べ提供回数 (回) | 丹波 | 瑞穂 | 和知 | 合計 |
| 3年度 | 0 | 9 | 0 | 9 |
| 2年度 | 34 | 9 | 0 | 43 |
| 元年度 | 50 | 16 | 0 | 66 |
| 前年度比較 (%) | ■ | 100.0 | ■ | 20.9 |
| 元年度比較 (%) | - | 56.3 | - | 13.6 |

【成果・課題】

- ・丹波地区では、軽度生活支援を利用されていた方が、介護保険事業（予防訪問介護事業）へ移行となったため減少した。

(2) 外出支援事業

■対象者：概ね65歳以上の高齢者、または概ね60歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方で、一般の交通機関の利用が困難な方

■内容：自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物等の送迎

■提供者：運転介助員、ホームヘルパー

| | 延べ利用者数 (人) | 延べ提供回数 (回) |
|------------|--------------|--------------|
| 3年度 | 1,706 | 4,865 |
| 2年度 | 1,339 | 4,520 |
| 元年度 | 1,422 | 4,669 |
| 前年度比較 (%) | 127.4 | 107.6 |
| 元年度比較 (%) | 120.0 | 104.2 |

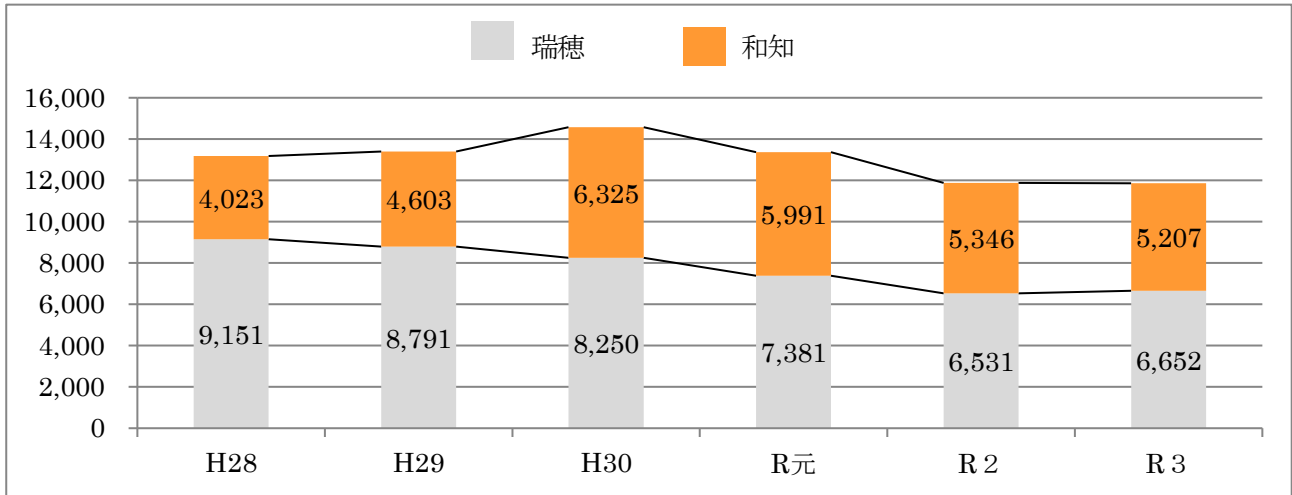
【成果・課題】

- ・丹波地区や和知地区は新規利用者が増えていることや、曜日が集中し、配車や運転手が足りず、他の支所に応援を頼むことがある。また車いすでの送迎が増えており、車両が足りず、他の支所から車両を手配することもある。
- ・瑞穂地区において新規利用者はあるものの、増減としては大きく変わらない。受診が福知山市、亀岡市と範囲が広いため走行距離が長く、他の事業でも車両を使うため配車に苦慮する。
- ・また車両が老朽化しており、車両の確保が難しくなっている。
- ・コロナ禍において、福祉有償運送移動・送迎運転協力者講習会が開催されなかったため、運転手の確保が進まず、職員が送迎業務を担うことが多かった。

(3) - 1 食の自立支援事業（毎日給食）

- 対象者：調理が困難な一人暮らし高齢者
- 地 区：瑞穂地区、和知地区のみ ※丹波地区は丹波高原荘が実施
- 内 容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配
- 利用料：1食 500円（ご飯、おかず）、450円（おかずのみ）

※地区ごとの利用者数の推移（単位：提供配食数）



| 延べ利用者数 (人) | 瑞 穂 | 和 知 | 合 計 |
|------------------|--------------|--------------|---------------|
| 3年度 | 413 | 313 | 726 |
| 2年度 | 411 | 327 | 738 |
| 元年度 | 445 | 365 | 810 |
| 前年度比較 (%) | 100.5 | 95.7 | 98.4 |
| 元年度比較 (%) | 92.8 | 85.8 | 89.6 |
| 延べ提供食数 (食) | 瑞 穂 | 和 知 | 合 計 |
| 3年度 | 6,652 | 5,207 | 11,859 |
| 2年度 | 6,531 | 5,346 | 11,877 |
| 元年度 | 7,381 | 5,991 | 13,372 |
| 前年度比較 (%) | 101.9 | 97.4 | 99.8 |
| 元年度比較 (%) | 90.1 | 86.9 | 88.7 |

【成果・課題】

- ・配食にあたってはマスクの着用、消毒液を持参し感染予防に努めながら実施した。
- ・日々体調の変化により緊急入院や入所等が多々あり、その都度調整をする必要があった。
- ・一人暮らし高齢者の利用が多いこともあり、不在の場合は緊急連絡先等に確認し、配食による安否確認をしている。

(3) - 2 食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

- 対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等（和知地区）
- 内 容：調理・配食ボランティアによる月2回実施の「かけはし弁当」
- 利用料：1食 400円

| | 配食数 (食) | 調理ボラ数 (人) | 配食ボラ数 (人) |
|------------|------------|-----------|------------|
| 3年度 | 499 | 63 | 145 |
| 2年度 | 654 | 85 | 224 |
| 元年度 | 716 | 99 | 298 |

| | | | |
|-----------|------|------|------|
| 前年度比較 (%) | 76.3 | 74.1 | 64.7 |
| 元年度比較 (%) | 69.7 | 63.6 | 48.7 |

【成果・課題】

- ・緊急事態宣言やまん延防止措置等により実施回数が減った。

(3) - 3 介護予防普及啓発事業<男性調理実習>

■対象者：町内在住の男性

■内 容：高齢者が主体的に参加でき自立支援につながるサービス提供を目的に、食生活改善推進員協議会「くるみの会」の協力を得て男性調理実習を実施する。

※令和3年度はコロナ禍のため開催中止

(4) 訪問理美容事業

■対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等

■内 容：社協に登録された理美容師が訪問し理美容を行う

■利用料：1回 1,000円

| 延べ利用者数 (人) | 丹 波 | 瑞 穂 | 和 知 | 合 計 |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 3年度 | 12 | 12 | 16 | 40 |
| 2年度 | 6 | 12 | 5 | 23 |
| 元年度 | 10 | 6 | 3 | 19 |
| 前年度比較 (%) | 200.0 | 100.0 | 320.0 | 173.9 |
| 元年度比較 (%) | 120.0 | 200.0 | 533.3 | 210.5 |

【成果・課題】

- ・和知及び丹波地区で新規利用者が増え、利用回数も昨年と比べると多くなっている。瑞穂波地区において新規利用者はなく、昨年と同様である。

(5) 通所型サービスA事業 (にこにこクラブ)

■対象者：総合事業対象者の高齢者。

■内 容：5班体制で、月2回、健康観察と体操を取り入れ、介護予防や健康維持を目的に実施

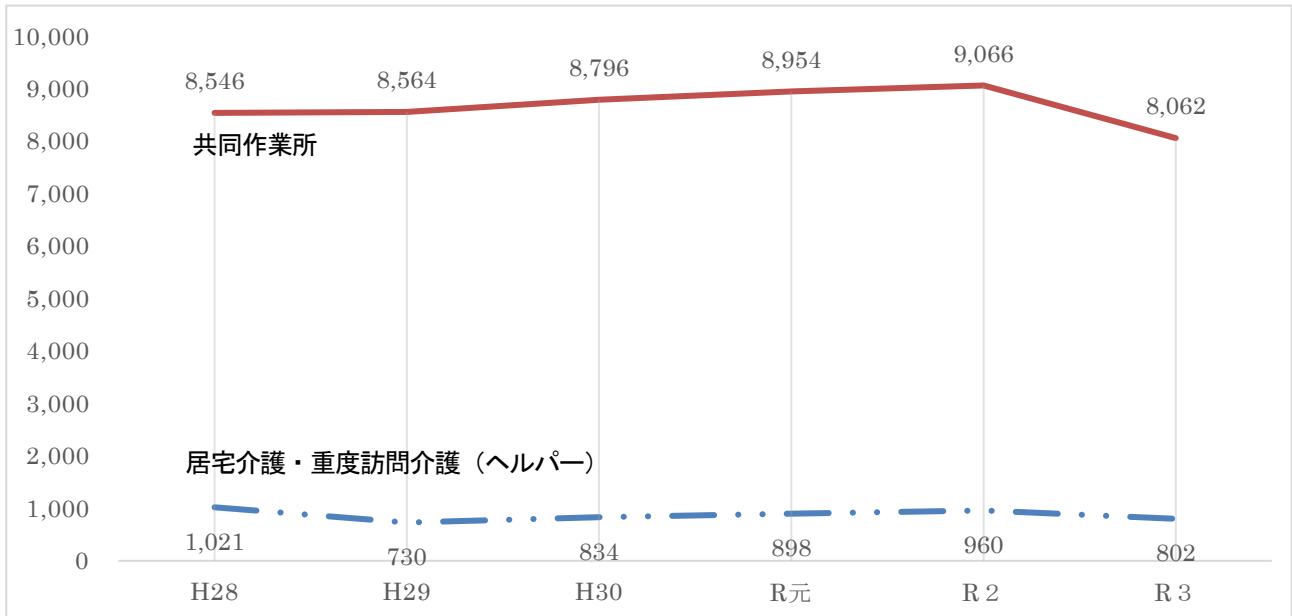
■会 場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

| 月 | 開催日 | 参加者数 | 月 | 開催日 | 参加者数 |
|------------|----------------|------|-----|----------------|------------|
| 4月 | 20日、27日 | 40 | 10月 | 5日、14日、19日、28日 | 70 |
| 5月 | 18日、27日 | 35 | 11月 | 2日、11日、16日、25日 | 71 |
| 6月 | 1日、10日、15日、24日 | 71 | 12月 | 7日、9日、14日、23日 | 70 |
| 7月 | 6日、15日、20日、29日 | 72 | 1月 | 18日、27日 | 31 |
| 8月 | 17日、26日 | 35 | 2月 | 1日、10日、15日、24日 | 68 |
| 9月 | 7日、16日、21日、30日 | 75 | 3月 | 1日、10日、15日、24日 | 62 |
| 合 計 | | | | | 700 |
| 2年度実績 | | | | | 668 |
| 前年度比 (%) | | | | | 104.8 |

【障害者福祉事業】

1 障害者総合支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 居宅介護・重度訪問介護事業

■ホームヘルパーによる在宅支援活動

| 延べ利用者数 (人) | 障害支援 区分 1 | 障害支援 区分 2 | 障害支援 区分 3 | 障害支援 区分 4 | 障害支援 区分 5 | 障害支援 区分 6 | 合 計 |
|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 3年度 | 12 | 36 | 46 | 3 | 5 | 0 | 102 |
| 2年度 | 10 | 24 | 43 | 0 | 12 | 0 | 89 |
| 元年度 | 12 | 24 | 40 | 0 | 12 | 0 | 88 |
| 前年度比較 | 120.0 | 150.0 | 107.0 | — | 41.7 | — | 114.6 |
| 元年度比較 | 100.0 | 150.0 | 115.0 | — | 41.7 | — | 115.9 |
| 延べ提供回数 (回) | 障害支援 区分 1 | 障害支援 区分 2 | 障害支援 区分 3 | 障害支援 区分 4 | 障害支援 区分 5 | 障害支援 区分 6 | 合 計 |
| 3年度 | 118 | 354 | 140 | 18 | 172 | 0 | 802 |
| 2年度 | 105 | 256 | 155 | 0 | 444 | 0 | 960 |
| 元年度 | 137 | 189 | 134 | 0 | 438 | 0 | 898 |
| 前年度比較 | 112.4 | 138.3 | 90.3 | — | 38.7 | — | 83.5 |
| 元年度比較 | 86.1 | 187.3 | 104.5 | — | 39.3 | — | 89.3 |

【成果・課題】

- ・利用者数は増加したが、新型コロナウイルス感染予防により毎日訪問のあった利用者がヘルパー訪問を断られたため、提供回数は減少した。

(2) 障害者共同作業所運営事業

障がいのある方の自立を目指し、生活能力向上の支援や就労訓練を行う。

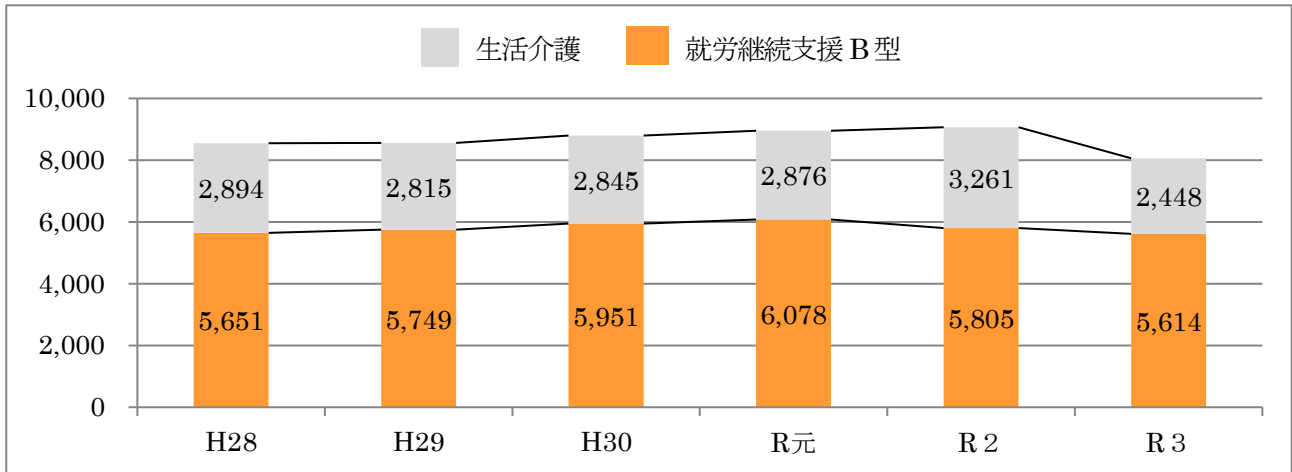
【生活介護】

創作的活動や生産的活動の機会を提供し身体的機能や生活能力向上のための援助を行う。

【就労継続支援B型】

一般就労に向けて必要な知識や能力の向上を目的に、生産活動やその他の活動を通して本人に合った訓練や支援を行う。

※利用実績の推移（単位：提供回数）



①利用実績

| 延べ利用者数 (人) | 生活介護 | 就労継続支援B型 | 合計 |
|------------------|--------------|--------------|--------------|
| 3年度 | 2,448 | 5,614 | 8,062 |
| 2年度 | 3,261 | 5,805 | 9,066 |
| 元年度 | 2,876 | 6,078 | 8,954 |
| 前年度比較 (%) | 75.1 | 96.7 | 88.9 |
| 元年度比較 (%) | 85.1 | 92.4 | 90.0 |

■利用者数（令和4年3月31日現在）

生活介護 … 14名

就労継続支援B型… 38名

合計52名

■入退所者数

入所者… 4名

退所者… 4名 退所理由（就職… 2名、就労継続支援A型事業所利用… 1名、他施設利用… 1名）

②販売会（自主製品の販売を通して啓発や工賃アップにつなげる）

| 販売会名 | 開催日 | 内容 |
|------------|-----------|-------------------------|
| タープマルシェ | 7/25 (火) | 道の駅丹波マーケス うるおい館北側（職員3名） |
| 上和知村中部村まつり | 11/21 (日) | わち地域交流拠点施設（職員3名） |
| 子育て応援フェスタ | 12/18 (土) | ギャラリー亀岡（職員3名） |

③研修会

| 職員全体会議 | 開催日 | 内容 |
|---------|-----------|----------------|
| 第1回全体会議 | 4/1 (木) | 年間事業計画、行事、職務分担 |
| 第2回全体会議 | 10/22 (金) | 個別支援計画について |

④避難訓練（各支所年1～2回実施）

第1回避難訓練（火災想定）

- 丹波・・・令和4年1月7日（金）
- 瑞穂・・・令和3年12月28日（火）
- 和知・・・令和3年12月10日（金）

第2回避難訓練（地震想定）

- 丹波・・・令和4年3月28日（月）
- 瑞穂・・・令和4年3月28日（月）
- 和知・・・令和4年3月28日（月）

⑤実習生受け入れ

丹波本所 3名、和知支所 1名 のち作業所利用へとつながる

⑥地域交流（ボランティア）

- ・十三の会（とみのかい）・・・3月から11月週1回 和知支所にてアルミ缶回収、ねぎの調整
- ・七八会（ななはちかい）・・・2週に1回 和知支所にてねぎの調整
- ・個人ボランティア・・・毎週1～2回 丹波本所、瑞穂支所

⑦職場実習

- ・サンワ樹脂株式会社日吉工場 2/14（月）～2/18（金） ガスコンロ検品作業
※実習からトライアル雇用へと繋がった。
- ・上記とは別に、それぞれ違う事業所で一昨年度実習からトライアル雇用となり、さらに就職へとつながった方2名は継続して働いておられる。

⑧健康管理

- ・毎月1回健康観察、健康相談
- ・健康診断受診率はほぼ100%
- ・京都府歯科医師会の歯科検診、口腔内ケア指導希望者のみであるが受診者増加している。

⑨利用者学習会（精神障害のある仲間の交流会）

日 時：令和3年7月9日（金）
場 所：瑞穂保健福祉センターほほえみ 2階
内 容：今できる就労準備って何だろう
講 師：なんたん障害者就労・生活支援センター 就労支援員 中井美咲氏
参加者：利用者7名、職員3名

⑩合同保護者会

日 時：令和3年7月28日（水）10：00～11：45
場 所：京丹波町中央公民館1階 和室
参加者：保護者13名 職員5名 手話通訳者1名

【成果・課題】

- ・なんたん障害者就労・生活支援センターと連携しながら、企業実習を経てトライアル雇用、さらに就職へと順調につながっている。また、就労希望者に対してなんたん障害者就労・生活支援センターの協力を得て学習会を実施できた。
- ・利用者が地域で自身の利用体験等を発表できる機会があり、久しぶりに地域の方と出会えて、つながりの再構築と地域での出番づくりができた。
- ・最近の利用傾向として毎日利用ではなくご本人のペースに合わせて週1回、また他の事業所も併用し

ながらの利用など、利用の仕方が多様化し、契約人数は変わらないが延べ人数は減少している。

- ・作業以外の取り組みが必要な方に対して生活介護の取り組みを今年度はさらに広げ充実させるため、昨年のメンバーの他にも声をかけ行事を実施した。また、コロナ禍で交流ができないときもリモートで交流できるように設定できた。作業だけでは見られない利用者の皆さんのいきいきした姿に改めて取り組みの大切さを感じている。今後は安定して利用できる場所と時間の確保に努めていく。
- ・新たに2か所の地域の事業所や農家の方と繋がり、作業を請け負うことができた。また、広報で掲載することにより反響もあり地域の方にも知ってもらう機会となった。
- ・コロナ禍で、行事の開催が自粛され自主製品の販売会などは例年どおりには実施できなかったが、行政からはこれまでどおり人権啓発物品等の注文をいただいた。引き続き受注を増やせるよう商品開発に努め、啓発の工夫をしていく。
- ・利用者の皆さんにも協力を得ながら新型コロナウイルス感染者もなく利用していただいている。引き続き感染予防対策を徹底し、皆さんが安心して利用できる環境づくりに努めていく。また、感染対策で窮屈な生活にならないようリフレッシュ出来る機会も提供していく。



2 特定障害者指定相談支援事業（相談支援センターにじ）

■目的：障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、保健、医療、福祉、就労、教育等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、一人ひとりの意向、適正、特性等に応じ、適切かつ効果的な相談支援を行う。

■内容：ア 相談

- ・生活全般に関する相談や福祉サービス利用の意向、解決すべき課題の整理

イ 関係機関との連絡調整

- ・利用者が複数のサービスを利用する際、共通した支援目標を示すことで同じ方向に向けたサービスの提供を図る
- ・利用者に関わる機関の役割分担やネットワークの強化

ウ サービス利用計画の作成

- ・利用者のサービス利用計画を作成する上で生活に対する意向を確認し、総合的な支援の方針やサービスの目的の明確化を図る
- ・サービスの提供が本人の意向に沿ったものとなっているか、また、新たな目標や身体状態の変化、計画の達成、サービスの種類、内容、支給量を定期的に確認する

■実績

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 新規契約 | 4 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 計画書 | 7 | 4 | 2 | 2 | 1 | 4 | 3 | 1 | 4 | 2 | 3 | 2 | 35 |
| モニタリング書 | 16 | 0 | 12 | 0 | 3 | 1 | 9 | 3 | 4 | 1 | 2 | 2 | 53 |

【成果・課題】

- ・関係者間での情報共有（連携）や利用者（ご家族）との良好な関係性の構築によって、適切な福祉サ

ービス利用調整を提供。行政や関係機関からの依頼によって契約件数が増えてきている中、困難ケースなどの長期にわたる対応にも追われている。

- ・地域資源が少なく、利用者が満足していくサービス量の確保と調整にも課題がある。

3 ひきこもり等居場所づくり支援事業（にじの家）

■目的：ひきこもり状態の方やその家族が気軽に利用できる居場所を開設し、当事者等からの相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図り、地域における自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■内容

(1) 居場所「にじの家」の開設・運営

当事者が自宅以外で過ごせる居場所として「にじの家」を開設する。当事者やその家族の社会的孤立を解消し、自宅以外で落ち着いて過ごせる空間としての「居場所」を運営する。また、必要に応じて専門機関と連携するなどの相談窓口機能も担う。

(2) 「当事者の会」と「家族の会」を分けることで、それぞれのニーズを汲み取る

ニーズに合わせた柔軟な活動内容提供により、利用しやすい環境にする。創作活動や家族交流会、中間的就労支援等、当事者の希望に応じながら柔軟に対応していく。

(3) 自宅訪問によるアプローチ

関係者や地域住民、当事者家族に、居場所「にじの家」の活動内容の周知、浸透の促進を図る。

■利用状況

※実施回数（参加人数）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 当事者会 | 5 (7) | 1 (5) | 3 (7) | 1 (6) | 1 (3) | 2 (4) | 1 (4) | 1 (4) | 1 (3) | 1 (4) | 1 (3) | 2 (4) |
| 家族の会 | - | - | - | - | - | - | 1 (4) | 1 (1) | 1 (2) | 1 (2) | 2 (5) | 1 (3) |

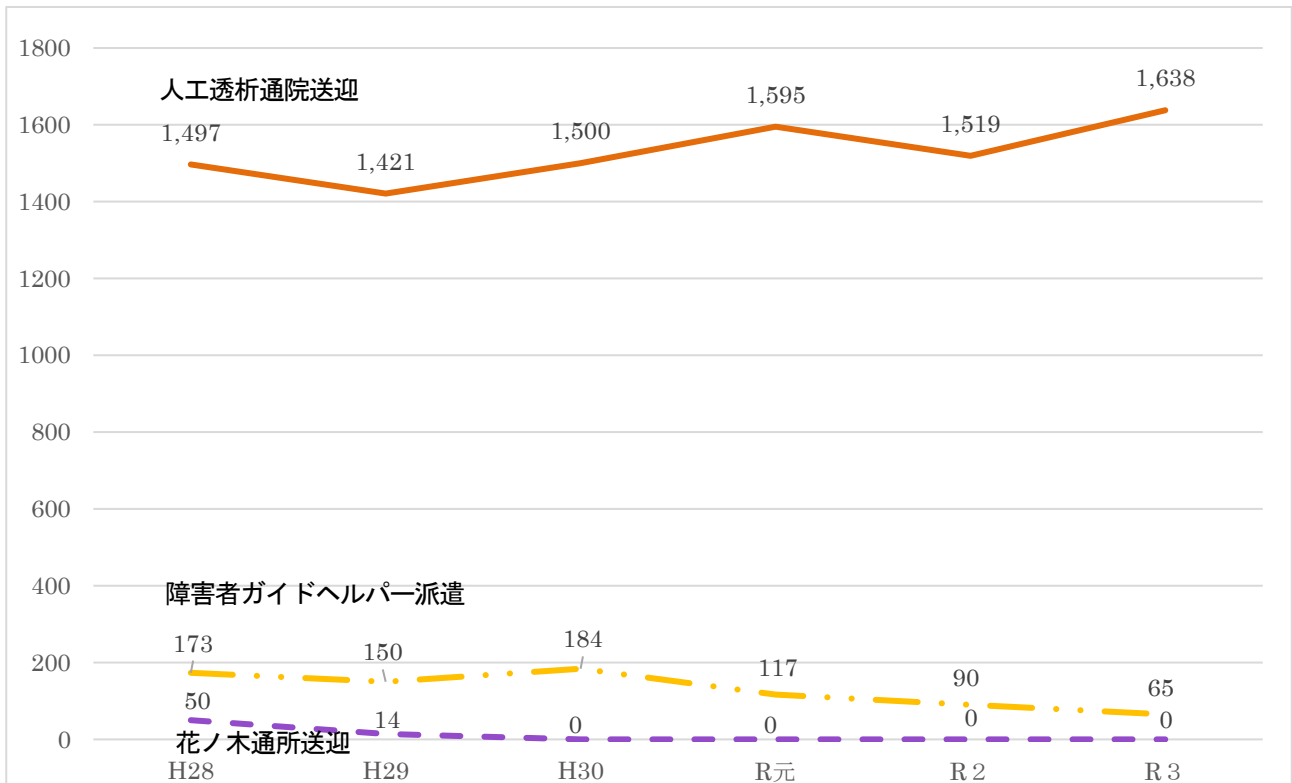
※4～9月は緊急事態宣言発令の為、家族の会は中止。

【方向性・課題】

- ・コロナ禍において、十分な感染対策のもとで運営を継続。当事者や家族の声を聴きながら、取り組み内容を臨機応変に対応している。
- ・関係機関との連携や研修を通して、利用者が望む居場所としての在り方も確立しつつある。一方で、地域資源との連携やアウトリーチ支援の進捗状況に課題があり、関係機関との連携もより一層求められている。

2 障害者等生活支援事業

※利用状況の推移（延べ提供回数、単位：回）



(1) 重度心身障害児・者通院通所事業

①人工透析通院送迎

- 対象者：人工透析患者
- 内容：人工透析のための通院送迎
- 提供者：社協外出支援運転手、ホームヘルパー

| 延べ利用者数 (人) | 瑞穂発便 | 和知発便 | 合計 |
|------------|------------|------------|--------------|
| 3年度 | 131 | 56 | 187 |
| 2年度 | 139 | 63 | 202 |
| 元年度 | 126 | 59 | 185 |
| 前年度比較 (%) | 94.2 | 88.9 | 92.6 |
| 元年度比較 (%) | 104.0 | 94.9 | 101.1 |
| 延べ提供回数 (回) | 瑞穂発便 | 和知発便 | 合計 |
| 3年度 | 939 | 699 | 1,638 |
| 2年度 | 939 | 580 | 1,519 |
| 元年度 | 929 | 666 | 1,595 |
| 前年度比較 (%) | 100.0 | 120.5 | 107.8 |
| 元年度比較 (%) | 101.1 | 105.0 | 102.7 |

【成果・課題】

(瑞穂発便)

- ・透析後の利用者の状態によっては透析室まで迎えに行き、車いすを使用し、車両まで移動しなければならない方も出てきており、その都度状態に合わせて、臨機応変に運転手や介助員が対応している。
- ・コロナ感染予防として検温や消毒についても継続して行っている。

②花ノ木通所送迎

■対象者：重度心身障害者で療育通所利用者

■内 容：花ノ木地域療育施設通所送迎

■提供者：社協外出支援運転手

※今年度利用無し

(2) 障害者ガイドヘルパー派遣事業

| | 延べ利用者数 (人) | 延べ提供回数 (回) |
|------------|------------|------------|
| 3年度 | 43 | 65 |
| 2年度 | 88 | 90 |
| 元年度 | 45 | 117 |
| 前年度比較 (%) | 51.8 | 72.2 |
| 元年度比較 (%) | 95.6 | 55.5 |

【児童福祉事業】

1 ファミリー・サポート・センター事業

① 各会員登録状況（3月末）

| 会 員 名 | R 3 年度末 | 新規登録者数 | 退会者数 |
|--------------|---------|--------|------|
| 依頼会員（おねがい会員） | 6 5 | 6 | 3 |
| 提供会員（あずかり会員） | 4 9 | 5 | 5 |
| 両 方 会 員 | 2 2 | 2 | 0 |

② 研修会交流会の開催・・・あずかり会員養成研修会、会員交流会

| 項 目 | 日時・場所 | 内 容 |
|------------------|--|--|
| あずかり会員養成 講習会 | 10月27日（水） 10月28日（木） 9:00～16:00 健康管理 センター | 内容： ＜1日目＞ 「子どもの安全と病気の世話」 講 師/健康推進課 保田 智子 氏 「あずかり会員として活動するために」 説 明/京丹波町社会福祉協議会 谷山 啓子 「受講生交流」 「会員活動体験談」 報告/提供会員 「救急時対策と応急処置」 講 師/赤十字幼児安全指導員 前田ゆかり 氏 ＜2日目＞ 「子どもの食生活」 講師/健康推進課 上林 小百合 氏 「子どもの権利（人権）について」 講 師/こども未来課 四方 妃佐子 氏 「京丹波町の現状と子育て支援について」 講 師/こども未来課 山崎 紗也香 氏 「子どもの社会性と遊びについて」 講 師/上豊田保育所 久保元 恵子 氏 「子どもの発達に応じた関わり方」 講 師/健康推進課 長野 まい 氏 受講者：7名（新規受講3名、再受講4名） |
| 全体交流会 | 11月27日（土） 10:00～11:30 中央公民館 | 内 容：会員による特技披露、クリスマス製作、輪投げコーナーなど 参加者：19名 （依頼会員4名、提供会員4名、両方会員1名、子ども8名、会員家族2名） |
| 会員交流会 （提供・両方） | 12月10日（金） 10:00～11:30 瑞穂保健福祉 センター | 内 容：アロマスプレー作り、セルフアロママッサージ 講 師：橋本果遊 氏（京丹波町高岡在住） 参加者：9名 （提供会員2名、両方会員3名、子ども4名） |

③ アドバイザー研修

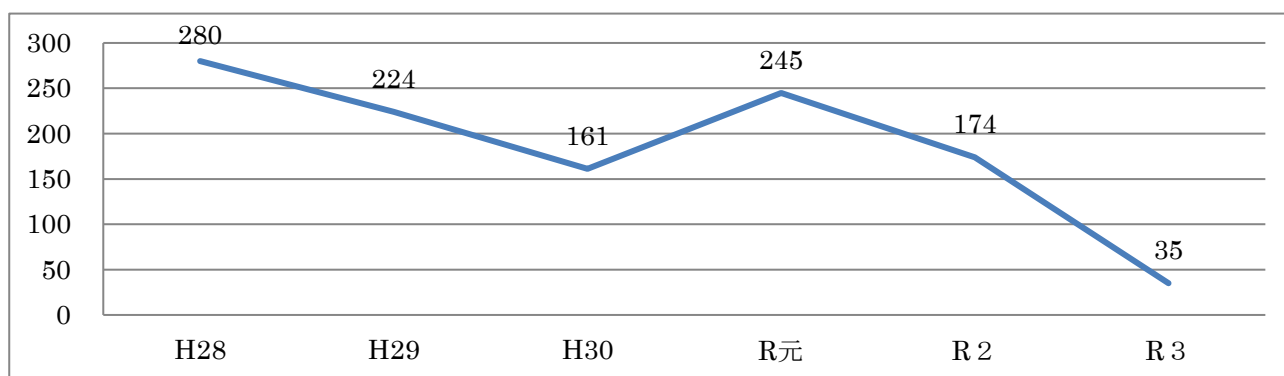
| 研修・講座名 | 日時・会場 | 内 容 |
|----------------------------|--------------------------|------------------------------------|
| ファミリー・サポート・センター全国アドバイザー講習会 | 令和3年10月15日（金） オンライン開催 | 説明/厚生労働省 子ども家庭局 子育て支援課 基調講演① |

| | | |
|-----------------------|-------------------------------------|---|
| | | 『提供会員の動機付けに見るファミリー・サポート・センター事業の可能性』 講師/山下 亜希子氏 基調講演② 『ファミリー・サポート・センターの「地域の支え合い」による子育て支援の意義』 講師/東根 ちよ氏 |
| リスクマネジメント実践 セミナー研修 | 令和3年12月15日(水) ～12月28日(火) 動画配信 | ①「事故防止のための簡易KYT講習会実施の手引き」 ②「ファミリー・サポート・センター事業における～自動車事故防止セミナー～」 講師/ 梶浦 勉氏 (MS&AD インターリスク総研株式会社) |

④ 活動実績・・・調整状況

| 事業名 | 回数 | 内容 |
|-------|----|---|
| マッチング | 9 | 放課後児童クラブ開始前の預かり及び送迎、保護者の外出時の預かり、保護者の就労時の預かり、保護者の通院時の預かり |
| 活動実績 | 35 | 放課後児童クラブ開始前の預かり及び送迎、保護者の外出時の預かり、保護者の就労時の預かり、保護者の通院時の預かり |
| 訪問・面談 | 24 | 会員宅訪問、相談対応 |

※活動実績の推移 (延べ提供回数、単位：回)



【成果・課題】

- ・今年度は、長期休み期間中の預かり及び送迎の依頼があり、複数の提供会員とマッチングすることで活動に対応できた。しかし、会員の高齢化や就労など、地域によって活動可能な会員が不足しており、同じ会員が複数の依頼を掛け持ちすることとなった。
- ・小学校を卒業されたことで継続して利用されていた送迎の依頼が無くなったことや、町内で他の預かりサービスを利用されるなど、活動回数が大きく減少した。
- ・ひとり親家庭日常生活支援事業の家庭生活支援員の方が、提供会員として4名登録された。
- ・あずかり会員養成講習会については感染防止対策を講じて開催した。新規3名(提供会員1名、両方会員2名)、救命講習においては、受講から5年が経過している会員4名が再受講し、計7名の受講となった。

【地域福祉推進事業】

1 啓発活動の展開

(1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行

| NO | 発行月 | 内容等 |
|----|---------|---|
| 55 | 令和3年4月号 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置図 ・押し花ボランティア天花/相談事業のお知らせ ・地域福祉活動計画特集 ・令和2年度赤い羽根共同募金配分事業報告 ・日赤活動資金ご協力のお祝い ・作業所 NEWS ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・寄付お礼 |
| 56 | 令和3年6月号 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画・予算 ・社協事業紹介 ・社協会費のお祝い ・京丹波町災害ボランティアセンター ・在宅福祉課よりお知らせ ・にじの家 ・相談事業のお知らせ ・特集：『たんぽぽ広場』 ・作業所 NEWS ・寄付お礼 |
| 57 | 令和3年9月号 | <ul style="list-style-type: none"> ・会長就任あいさつ/新役員・新評議員紹介 ・赤い羽根共同募金運動のお知らせ ・令和2年度事業・決算報告 ・京丹波町災害ボランティアセンター ・地域福祉課よりお知らせ ・相談事業のお知らせ ・デイサービスセンターよりお知らせ ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・作業所 NEWS ・寄付お礼 |
| 58 | 令和4年1月号 | <ul style="list-style-type: none"> ・社協会長新春メッセージ ・「くさぶえ」厚生労働大臣表彰受賞 ・赤い羽根共同募金（公募事業・街頭募金・募金箱） ・歳末たすけあい募金（年末大掃除・お買い物バス） ・京都府福祉大会・社協会費お礼・フードバンクの取組み ・競輪補助事業・相談支援事業・在宅福祉課よりお知らせ ・作業所 NEWS ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・寄付お礼 |

【成果・課題】

- ・京丹波町社協の広報誌として、季刊（年に4回）で発行した。社協の取り組む事業の紹介や報告、事業の告知などを行った。

(2) facebook（フェイスブック）での情報発信

京丹波町社協の事業に関する情報や町内の地域福祉活動の取組み等について、迅速に情報提供することを目的に facebook（フェイスブック）による情報発信を行う。

① 投稿実績 73回

(3) 福祉まつりの開催

- ・令和3年度コロナ禍のため式典は中止。ただし、ボランティア表彰として個人・サークルには感謝状を贈呈し、ボランティア情報紙ほのぼら（No.102）に掲載した。
- ・コロナ禍により、福祉まつりに代わる福祉の啓発として、町のケーブルテレビ（CATV）の協力により特集番組を企画、製作に取組んだが、まん延防止措置により撮影が進まず、令和4年度に放送予定で進めている。

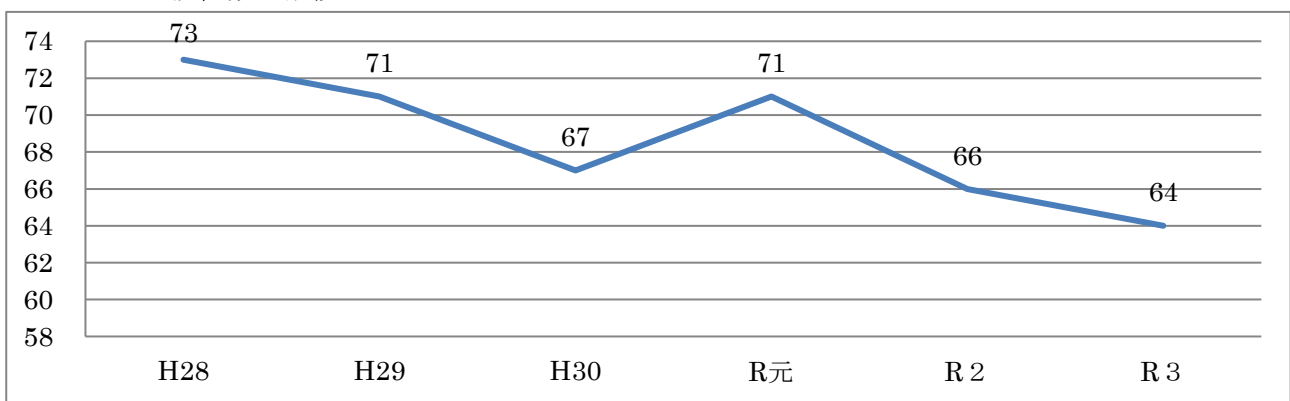
2 地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切に活動の展開

(1) ふれあいいきいきサロン活動の展開

① ふれあいいきいきサロン各地区の設置状況

| 丹波地区 | 瑞穂地区 | 和知地区 | 合計 |
|--|----------------------------------|---------------------------------|--------------------|
| (令和3年度実績) 29サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む | (令和3年度実績) 27サロン 広域サロン 1を含む | (令和3年度実績) 8サロン 広域サロン 1を含む | (令和3年度実績) 64サロン |
| (令和2年度実績) 31サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む | (令和2年度実績) 27サロン 広域サロン 1を含む | (令和2年度実績) 8サロン 広域サロン 1を含む | (令和2年度実績) 66サロン |

※サロン設置数の推移



【成果・課題】

- ・コロナ禍で緊急事態宣言等が出たことにより集まることが難しい中、見守り活動を継続し、つながりを切らさないように活動されていた。また訪問時には、手紙・脳トレプリントの配布や手作りお弁当などを届けたりと、それぞれ工夫して活動されていた。
- ・コロナ禍を経てサロン再開に向け消毒液と除菌ウェットシートを配布するなどしてサロン再開を後押しできるように支援できた。
- ・コロナ禍のサロン活動者の思い、参加者の思いを聞き取り、地域活動は「地域の宝もの」として集まることから新たな仕組みやつながりの大切さをまとめ、全戸に配布することができた。

(2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

| | 丹波 | 瑞穂 | 和知 | 合計 |
|----------|-----|----|-----|-----|
| 定例会回数 | 12 | 6 | 12 | 30 |
| 訪問回数 | 49 | 21 | 45 | 115 |
| 延べ訪問活動者数 | 49 | 37 | 45 | 131 |
| 延べ活動者数 | 120 | 59 | 100 | 279 |
| 訪問対象件数 | 6 | 13 | 5 | 24 |
| サークル員数 | 6 | 4 | 7 | 17 |

(3) 京丹波町見守りネットワーク事業（絆ネット支援事業）

地域住民や事業者の方々が、日常生活や業務の中で異変や困りごとに気づいた時に、社協へ連絡していただくことで関係者が状況確認を行い、より多くの目で地域をさりげなく見守る活動を行う。

実施状況

■京丹波町見守りネットワーク事業協力事業所登録数

| | |
|-------|-------------|
| 登録事業所 | 64事業所／3月末現在 |
| 通報件数 | 5件 |

【成果・課題】

- ・今年度は新しく3事業所に登録していただいた。
- ・通報は、金融機関や自動車整備工場、生協などから5件あり安否確認がとれた。
- ・昨年度、薬局から利用者の方の薬の飲み残しで通報があった件はその後、薬局から自宅に届けることで飲み残しもほとんどなくなっているという嬉しい話を聞くこともできた。
- ・今後も協力していただける事業所を少しずつでも増やしていき、見守り活動以外の地域活動にも協力してもらえる機会もつくっていきたい。

3 住民参加の地域福祉推進事業

(1) 社会福祉体験学習事業の実施

夏休み期間を活用し、町内在住の中学生・高校生を対象に生徒の自主的な参加のもと、3日間福祉施設等での体験を通じて福祉について学びを深める。

【成果・課題】

※令和3年度は、コロナ禍のため開催中止。

各事業所から施設説明の書類を作ってもらい、社会福祉体験事業所パンフレットにして、各学校（各町内中学校、須知高等学校）、各クラスに配布。どのような仕事をしているか、町内にどのような事業所があるかを周知した。

(2) デイサービスキッズボランティア体験学習の実施

中高生の福祉体験学習を実施する中で、子どもたちの福祉離れを感じることもあり、小学生から福祉に触れ合うきっかけ作りの場として実施。

※令和3年度コロナ禍のため開催中止

4 フードバンク

新型コロナウイルス感染症の影響で、生活費の減少から支援を必要とされる方等を対象に、食料品等を提供し支援を行う。

(1) 食料品の提供

地域交響プロジェクト交付金(府民に寄り添った地域活動緊急支援事業)を活用し、令和3年12月、年末年始における食料品等の無償提供を実施した。

提供世帯数 29世帯

(2) 食料品等の募集

地域住民や町内事業所からの食料品等の寄付や回収の協力をいただき、地域全体で助け合う仕組みとする。

①町内事業所からの食料品提供



石井食品株式会社



株式会社創味食品

②ファミリーマート京丹波蒲生店による「ファミマフードドライブ」の取組

「ファミマフードドライブ」とは…(株)ファミリーマートが全国的に実施されている取組みで、店舗内に食料品回収ボックスを設置し、住民が家庭にある食料品を持ち寄り、寄付された食料品を協力パートナー(社協等)が支援を必要とされる世帯へ、無償で提供する。家庭の食品ロス削減と地域の支え合いを推進する取組。



ファミリーマート京丹波蒲生店



ご寄付いただいた食料品

【成果・課題】

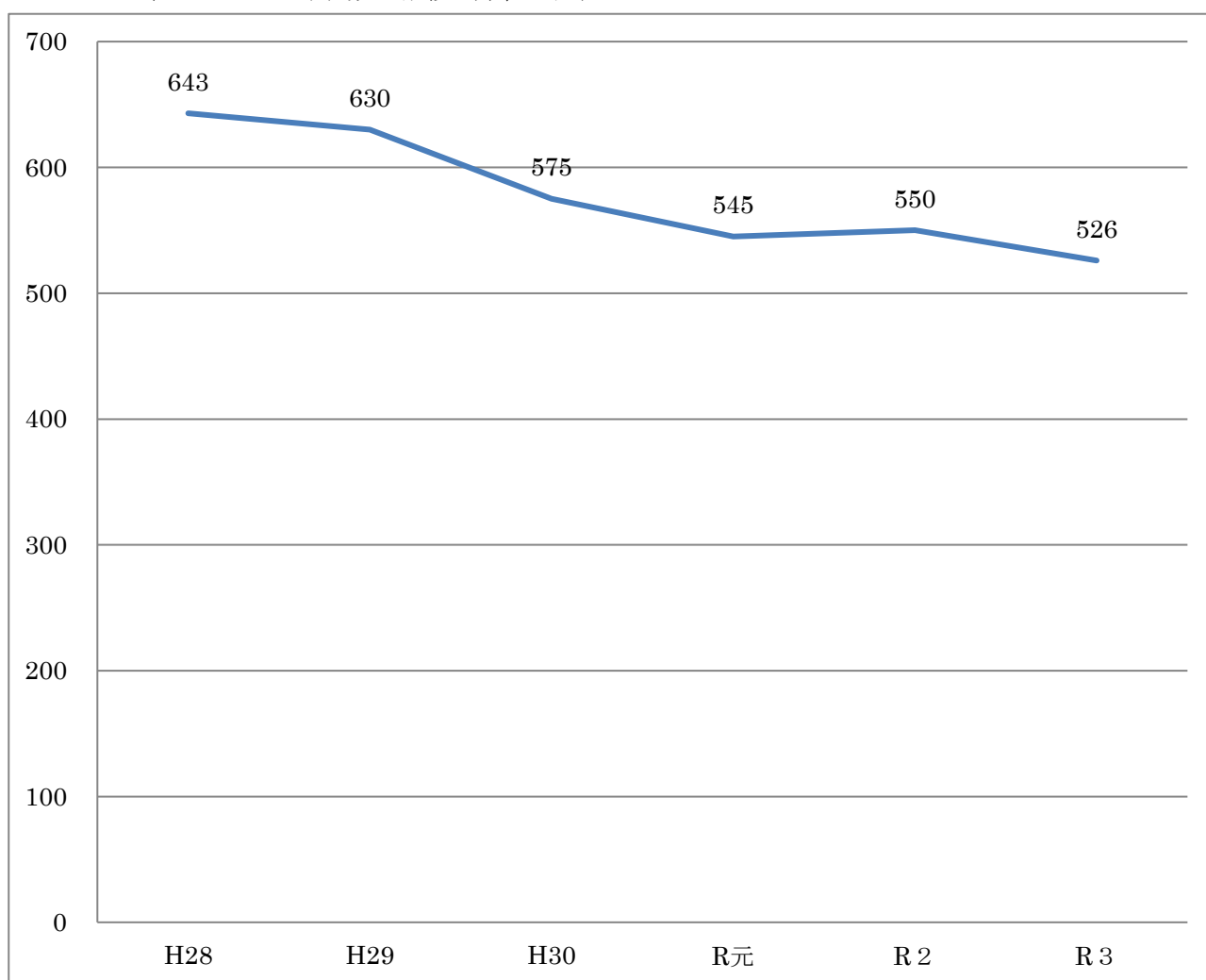
・継続した支援が必要であるため、令和4年度からは定期的に食料提供ができるよう取組みを進める。

【ボランティア振興事業】

1 ボランティアバンク登録状況

| | 性別 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 合計 |
|-----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| 丹波 | 男 | 11 | 2 | 4 | 1 | 9 | 12 | 39 |
| | 女 | 16 | 8 | 12 | 11 | 43 | 126 | 216 |
| | 計 | 27 | 10 | 16 | 12 | 52 | 138 | 255 |
| | 2年 | 20 | 7 | 16 | 15 | 56 | 128 | 242 |
| 瑞穂 | 男 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 15 | 16 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 5 | 22 | 97 | 125 |
| | 計 | 0 | 0 | 1 | 6 | 22 | 112 | 141 |
| | 2年 | 1 | 1 | 2 | 9 | 42 | 114 | 169 |
| 和知 | 男 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 13 | 15 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 7 | 28 | 79 | 115 |
| | 計 | 0 | 0 | 1 | 8 | 29 | 92 | 130 |
| | 2年 | 0 | 0 | 0 | 8 | 30 | 101 | 139 |
| 合計 | | 27 | 10 | 18 | 26 | 103 | 342 | 526 |
| 2年度 | | 21 | 8 | 18 | 32 | 128 | 343 | 550 |
| 比較 (%) | | 128.6 | 125.0 | 100.0 | 81.3 | 83.7 | 99.7 | 95.6 |

※ボランティアバンク登録者数の推移（単位：人）



2 ボランティア活動状況報告

(1) ボランティアグループ活動報告

①丹波地区

| NO | ボランティアグループ名 | 年間活動回数 | 年間活動延べ人数 |
|-------------------|---------------------|-------------|--------------|
| 1 | 要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」 | 21回 | 51名 |
| 2 | 朗読ボランティア「ともしび」 | 24回 | 114名 |
| 3 | モンキーズ&ハッピーサークル | 0回 | 0名 |
| 4 | 演芸ボランティア「民謡みやび会」 | 0回 | 0名 |
| 5 | 演芸ボランティア「瑞舟会」 | 12回 | 36名 |
| 6 | 演芸ボランティア「苑の会」 | 5回 | 25名 |
| 7 | 演芸ボランティア「すみれ会」 | 0回 | 0名 |
| 8 | お誕生カードボランティア「すずらん」 | 1回 | 3名 |
| 9 | 絵手紙ボランティア | 7回 | 31名 |
| 10 | くらしの応援ボランティア「ひらめき会」 | 5回 | 10名 |
| 11 | 子育てボランティア「さくらんぼ」 | 3回 | 12名 |
| 12 | 保育ボランティア | 13回 | 31名 |
| 13 | 美容ボランティア「愛（めぐみ）の会」 | 8回 | 40名 |
| 14 | 竹野ほほえみの会 | 6回 | 60名 |
| 15 | 蒲生ボランティアグループ | 5回 | 51名 |
| 16 | 豊田あじさいの会 | 12回 | 108名 |
| 17 | グリーンハイツすみれ会 | 33回 | 132名 |
| 18 | グリーンハイツなごみ会 | 36回 | 180名 |
| 19 | 富田萩の会 | 8回 | 87名 |
| 20 | 傾聴ボランティア「うさぎの耳」 | 55回 | 103名 |
| 21 | アロハフラピカケ | 15回 | 197名 |
| 22 | 遊び広場もこもこ | 13回 | 32名 |
| 23 | 和太鼓「えん」 | 33回 | 420名 |
| 24 | 和太鼓「結輪」 | 21回 | 63名 |
| 25 | 手話サークル「いちよう」 | 5回 | 25名 |
| 26 | 京丹場 SUN 3 協会 | 18回 | 104名 |
| 丹波支所活動計（イ） | | 359回 | 1915名 |

②瑞穂地区

| NO | ボランティアグループ名 | 年間活動回数 | 年間活動延べ人数 |
|-------------------|-----------------------|-------------|-------------|
| 1 | 収集ボランティア「めぐみ」 | 6回 | 35名 |
| 2 | 要約筆記ボランティア「ささやき」 | 10回 | 23名 |
| 3 | 朗読ボランティア「あかり」 | 8回 | 26名 |
| 4 | 暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」 | 6回 | 19名 |
| 5 | 暮らしの応援ボラ「ダイナミックス」 | 12回 | 55名 |
| 6 | 押し花ボランティア「花かご」 | 7回 | 35名 |
| 7 | 傾聴ボランティア「なかよし会」 | 27回 | 59名 |
| 8 | 京丹波スリーA | 16回 | 67名 |
| 9 | くるみの会 | 3回 | 18名 |
| 10 | コーラスカナリア | 15回 | 135名 |
| 11 | 手話サークル「ありんこ」 | 18回 | 55名 |
| 瑞穂支所活動計（ロ） | | 128回 | 527名 |

③和知地区

| NO | ボランティアグループ名 | 年間活動回数 | 年間活動延べ人数 |
|---------------------|----------------------|-------------|--------------|
| 1 | 要約筆記サークル「くさぶえ」 | 10回 | 32名 |
| 2 | 朗読ボランティア「こだま会」 | 7回 | 32名 |
| 3 | ガイドヘルパー「みちづれ」 | 50回 | 52名 |
| 4 | 十三の会 | 33回 | 57名 |
| 5 | 七八会 | 9回 | 17名 |
| 6 | 大迫グループ | 0回 | 0名 |
| 7 | 虹の会 | 57回 | 100名 |
| 8 | お誕生カードづくりボランティア「天花」 | 4回 | 16名 |
| 9 | 手芸ボランティア「モチーフ」 | 3回 | 16名 |
| 10 | ふれあい給食サービス「調理ボランティア」 | 11回 | 63名 |
| 11 | ふれあい給食サービス「配食ボランティア」 | 157回 | 335名 |
| 12 | 彩いろグループ | 15回 | 165名 |
| 13 | 才原グループ「ふきのとう」 | 5回 | 10名 |
| 和知支所活動計（ハ） | | 361回 | 895名 |
| 総 合 計（イ＋ロ＋ハ） | | 848回 | 3337名 |

（2）個人ボランティア活動報告

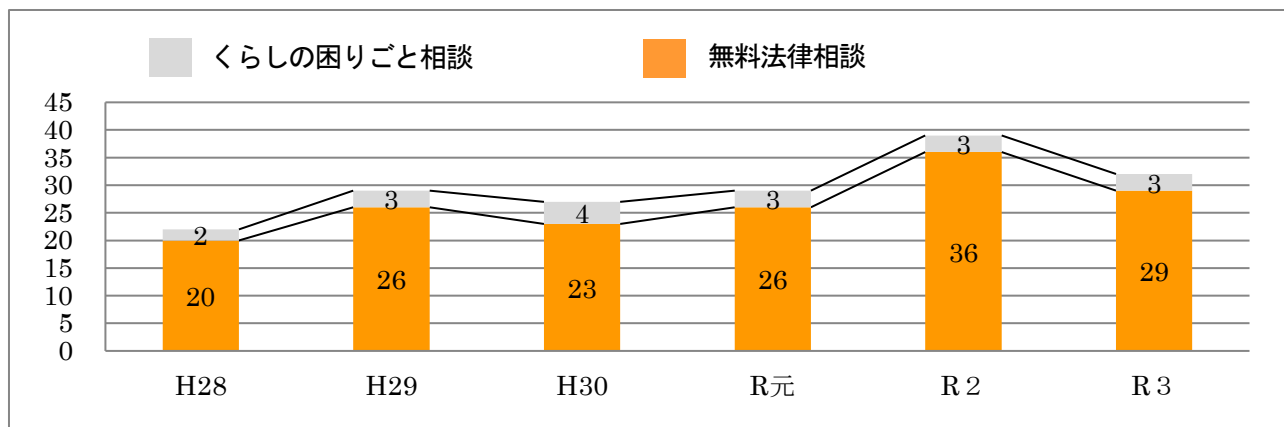
| 活 動 内 容 | 活動回数 | 活動者数 |
|---------------------------|-------------|-------------|
| 京丹波町身体障害者福祉会体育大会のボランティア支援 | 中止 | 名 |
| 配食ボランティア | 276回 | 488名 |
| ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵原画書き | 20回 | 1名 |
| ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵名前書き | 11回 | 3名 |
| 保育ボランティア | 6回 | 6名 |
| 合 計 | 313回 | 498名 |

【厚生福祉事業】

1 心配ごと相談事業

※来談者の推移（「心配ごと相談」はH29より「くらしの困りごと相談」に名称変更。）

（単位：人）



| くらしの困りごと相談 | 開催日 | 来談者 | 無料法律相談 | 開催日 | 来談者 |
|------------|--------|-----------|-----------|-------|------------|
| 和知 | 4月14日 | 1 | 瑞穂 | 4月5日 | 0 |
| 丹波 | 5月10日 | 0 | 丹波 | 5月10日 | 5 |
| 瑞穂 | 6月9日 | 0 | 和知 | 7月5日 | 1 |
| 和知 | 7月14日 | 0 | 瑞穂 | 8月2日 | 4 |
| 丹波 | 8月18日 | 0 | 丹波 | 10月4日 | 4 |
| 瑞穂 | 9月8日 | 0 | 和知 | 11月1日 | 4 |
| 丹波 | 10月4日 | 0 | 瑞穂 | 12月6日 | 3 |
| 和知 | 11月10日 | 0 | 丹波 | 2月7日 | 3 |
| 瑞穂 | 12月15日 | 0 | 和知 | 3月7日 | 5 |
| 和知 | 1月12日 | 1 | | | |
| 丹波 | 2月7日 | 0 | | | |
| 瑞穂 | 3月9日 | 1 | | | |
| 合計 | | 3件 | 合計 | | 29件 |
| 令和2年度実績合計 | | 3件 | 令和2年度実績合計 | | 36件 |

【成果・課題】

- ・新型コロナウイルスの感染が拡大している状況下や緊急事態宣言が発令されている期間においても、感染予防対策を講じながら相談所を開催した。くらしの困りごと相談所については担当職員が相談所に待機し、相談対応を行った。
- ・新たな広報手段として『京丹波町あんしんアプリ』を活用したところ、相談者から高評価があった。

2 福祉資金貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者が属する世帯を対象に、その世帯の状況・必要性に応じて無利子または低利で資金を貸し付ける事業。

(1) 新規貸付状況（令和3年度）

| | 丹波地区 | 瑞穂地区 | 和知地区 | 合計 | 転入 | 転出 |
|-------------------|------|------|------|----|----|----|
| 生活福祉資金貸付 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| くらしの資金貸付 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 特例貸付【緊急小口】 | 15 | 10 | 5 | 30 | 1 | 1 |
| 特例貸付【総合】 | 13 | 7 | 2 | 22 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|---|---|----|--|--|
| 【総合・延長】 | 2 | 2 | 0 | 4 | | |
| 【総合・再貸付】 | 11 | 5 | 2 | 18 | | |

※特例貸付の件数は受付数

【成果・課題】

- ・通常の生活福祉資金については、1件の相談が入り、貸付を行った。(福祉費・住宅)
- ・くらしの資金についても1件(生活の困窮)の貸付を行った。
- ・新型コロナウイルスの流行に関連して生活福祉資金の特例貸付が期間を延長して実施され、多くの相談が入った。この特例貸付は、新型コロナウイルスの影響を受け、休業や失業により収入の減少があった方を対象とした貸付である。

3 総合相談事業

(1) 相談受付内容

単位：件

| 金銭関係 | 介護等相談 | 書類等手続き | その他 | 合計 |
|------|-------|--------|--|----|
| 23 | 6 | 0 | 15 | 44 |
| | | | ごみの片づけ父の心配、事故、土地の区割り、家族の安否確認、町内在住者の安否確認、土地の管理、日中活動の場、転職、生活苦(食料難)、引きこもり、親族間トラブル、行方不明、仕事 | |

(2) 相談対応結果

単位：件

| 他機関紹介 | 多職種連携対応 | 社協事業対応 | その他 | 合計 |
|----------------------------------|--|-------------------------|--------------------------------|----|
| 8 | 19 | 8 | 9 | 44 |
| 京都弁護士会、南丹保健所就労相談、保健師、弁護士、保健所法律相談 | 民生委員、社協ケアマネ、町内施設、役場福祉支援課、山科区役所、町内自動車店、包括支援センター、保健師、子ども未来課、町内電気店、自治会役員、町病院連携室、弁護士 | 生活福祉資金、地権事業、総合相談、無料法律相談 | 親子で話し合い、長女に電話、傾聴、見守り、フードバンク、搜索 | |

【成果・課題】

- ・相談の詳細は記載できないが、金銭関係の相談がもっとも多く入った。また、その他の相談が例年より多く入った。
- ・今年度も、新型コロナウイルスの流行により生活福祉資金の特例貸付を行ったため、困窮の相談がそちらに集中し、昨年度に引き続き一般相談の件数としては少なくなった。

【福祉関係組織活動支援】

1 日赤社員増強運動

| 項目 | 丹波 | 瑞穂 | 和知 | 合計 |
|---------|----------|----------|----------|------------|
| 社資協力募金額 | 642,100円 | 509,980円 | 446,160円 | 1,598,240円 |

2 共同募金実績

(1) 赤い羽根共同募金運動 ⇒ 10月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

| 項目 | 内容 | 合計 | |
|--------|-------------------|--|------------|
| 募金額 | 令和3年度募金額 | 2,965,694円 | |
| 配分総額 | 令和2年度募金の配分金 | 2,314,104円 | |
| 前年度配分金 | 令和元年度募金の配分金（未交付分） | 1,057,041円 | |
| 配分内訳 | ① 啓発活動 | 広報ほほえみ発行 | 590,000円 |
| | ② 高齢者福祉事業 | 町老連助成 | 90,000円 |
| | ③ 障害児・者福祉活動 | 町身体障害者福祉会助成等 | 30,000円 |
| | ④ 母子・父子福祉活動 | 町母子寡婦福祉会助成 | 130,000円 |
| | ⑤ 児童青少年福祉活動 | 町内小中学校福祉活動助成 | 210,000円 |
| | ⑥ 地域福祉活動 | 公募助成・かがやき活動・ボランティア活動支援 貸出用備品購入・福祉パンフレット配布 | 721,460円 |
| | ⑦ 防災・災害対策事業 | 災害時用備品の購入 | 100,000円 |
| | ⑧ 未交付配分金 | 京都府共同募金会へ繰越金を送金 | 1,499,685円 |

(2) 歳末たすけあい募金 ⇒ 12月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

| 項目 | 内容 | 合計 | |
|----------|-------------------|------------------------|----------|
| 令和3年度募金額 | 戸別募金、法人募金、個人募金 | 1,568,894円 | |
| 配分総額 | 令和3年度募金の配分金 | 1,443,394円 | |
| 前年度配分金 | 令和2年度募金の配分金（未交付分） | 285,128円 | |
| 配分内訳 | ① 在宅援助活動 | 見舞・激励金の配布 | 744,000円 |
| | ② 在宅サービス事業 | 年末お掃除隊、買物支援、介護用防水シート配布 | 700,000円 |
| | ③ 共同作業所支援 | 共同作業所交流会支援 | 100,000円 |
| | ④ 未交付配分金 | 京都府共同募金会へ繰越金を送金 | 184,522円 |

(3) 京丹波町共同募金運営委員会・・・1回

| | |
|--------|--|
| R3.6.3 | 令和2年度事業報告について 令和3年度募金助成計画について 令和3年度募金推進計画について 令和2年度未交付配分金事業計画について |
|--------|--|

(4) 京丹波町共同募金委員会審査委員会・・・4回

| | |
|--------|-------------------------|
| R3.5.7 | 【書面決議】 令和2年度事業報告について |
|--------|-------------------------|

| | |
|------------|--|
| | 令和3年度事業計画について 令和3年度じぶんの町を良くする活動助成について |
| R3. 7. 21 | 令和3年度じぶんの町を良くする活動助成審査 |
| R3. 9. 3 | 【書面決議】 令和3年度歳末たすけあい激励金事業の実施について 令和3年度歳末たすけあい募金配分事業について |
| R3. 12. 13 | 令和3年度歳末たすけあい募金について 歳末たすけあい激励金配分について その他歳末配分事業について |

【成果・課題】

- ・募金実績では、昨年度に比べて赤い羽根募金が増加となった。戸別募金は減少傾向にあるが、道の駅「味夢の里」での街頭募金実施や、新たに町内の事業所に募金箱設置のご協力をいただいたことなどによると考えられる。今後も住民の皆さまのご理解が得られるような取り組みを進めるとともに、募金の使いみちなど地域に向けて積極的に発信していきたい。
- ・配分事業では、じぶんの町を良くする活動助成で、「コロナ禍でもできることを」「地域を明るくしたい」そんな思いが形となり広がる活動が数多くあった。この先も地域の思いに寄り添えるよう、皆さんからの貴重な財源で地域の活動を応援していきたい。

3 京丹波町老人クラブ連合会

京丹波町老人クラブ連合会と丹波・瑞穂・和知それぞれの支部活動を支援するため、事務局機能を担っている。

【災害支援活動と災害ボランティアセンター活動報告】

1 支援活動

(1) 京丹波町災害ボランティアセンターの設置・運営

令和3年度は、町内で災害ボランティアセンターを設置する大きな被害は無かった。

(2) 他市町村社協災害ボランティアセンター支援

①南丹ブロック社協との連携・共同

新型コロナウイルスの流行により、感染予防のため検討会議や訓練を実施することができなかった。

②京都市町村社協連合会の派遣

令和3年度は、派遣要請もなかった。

2 研修・講座

| 研 修 名 等 | 開催日 | 内 容 |
|---|-------|---|
| 第1回船井青年会議所と南丹市社協及び京丹波町社協との災害時における協力体制に関する協定締結に向けた打ち合わせ | 4/6 | 災害発生時の協力体制に関する相互協定締結に向けた打ち合わせ |
| 第2回船井青年会議所と南丹市社協及び京丹波町社協との災害時における協力体制に関する協定締結に向けた打ち合わせ | 4/20 | 災害発生時の協力体制に関する相互協定締結に向けた打ち合わせ |
| 園部ライオンズクラブと南丹市社協及び京丹波町社協との自然災害におけるボランティア支援に関する協定締結に向けた打ち合わせ | 4/20 | 災害発生時のボランティア支援に関する相互協定締結に向けた打ち合わせ |
| 船井青年会議所定例会（オンライン） | 5/19 | 青年会議所からの要請を受け定例会で災害ボランティアについて説明をした。 |
| 令和3年度京都府災害ボランティアセンター総会及び全体研修会 | 6/5 | 府災ボラの運営委員であるため総会に出席。その後に全体研修が開催され参加した。 |
| 園部ライオンズクラブと南丹市社協及び京丹波町社協との自然災害におけるボランティア支援に関する協定締結式 | 6/10 | 災害発生時のボランティア支援に関する相互協定締結式 |
| 船井青年会議所と南丹市社協及び京丹波町社協との災害時における協力体制に関する協定締結式 | 6/24 | 災害発生時の協力体制に関する相互協定締結式 |
| 南丹市災害ボランティアセンター運用訓練 | 7/14 | 南丹市社協の実施する訓練に災害ボラセン担当者が参加した。 |
| 令和3年度京都府災害ボランティアセンター初動支援チームフォローアップ研修・災害支援コーディネーター養成研修 | 11/17 | 感染症予防対策を講じたセンター運営の現状とICTを活用したボランティア受付の方法の研修 |
| 第1回京丹波町災害ボラセン運営検討会議 | 11/22 | 協定締結について説明・報告、全体職員研修と町民講座の検討 |
| 第2回京丹波町災害ボラセン運営検討会議 | 12/9 | 全体職員研修と町民講座の検討 |
| 第3回京丹波町災害ボラセン運営検討会議 | 1/12 | 全体職員研修と町民講座の検討 |
| 京都市町村災害ボランティアブロック別研修 | 1/19 | 災害時における個人情報の取り扱いに関する研修 |
| 第4回京丹波町災害ボラセン運営検討会議 | 2/1 | 全体職員研修と広報ほほえみ記事の検討 |
| 令和3年度近畿ブロック災害支援研修 | 2/14 | 近畿地方の災害関係団体がオンラインでつながり、避難行動や災害支援の在り方について研修を行った。 |

| | | |
|---------------------|------|--------------------|
| 第5回京丹波町災害ボラセン運営検討会議 | 2/16 | 全体職員研修と広報ほほえみ記事の検討 |
| 第6回京丹波町災害ボラセン運営検討会議 | 3/16 | 全体職員研修と広報ほほえみ記事の検討 |

【成果・課題】

- ・船井青年会議所と園部ライオンズクラブの2団体と災害時の相互協定を締結した。この協定の締結により、町内において自然災害による被害が出た（災害ボラティアセンターを立ち上げた）際には、両団体からセンター運営に協力いただける約束ができた。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言発令のため、訓練や講座等を開催することができなかった。上半期においては、会議を実施できなかったが、下半期に災害ボラセン運営検討会議を実施し、担当で活発な検討をすることができた。



園部ライオンズクラブ (R3. 6. 10 締結)



船井青年会議所 (R3. 6. 24 締結)